［第三種郵便物認可］

新京日日新聞

夕刊

十一月二十四日

本紙定價（郵税一部五錢 一ケ月壹圓五錢）
廣告料金（普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢）
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話（編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇）
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

日本の税關郵政權接收は高壓的要求に非ず

＝英國人一般の見解＝

【ロンドン廿三日發國通】英國政府は日本が上海の共同租界、佛租界の税關、郵政權の接收を要求してゐるとの報道を重視し、要求の具體的內容の判明するのを俟つてゐるがロイテル通信は一般英國人は日本の要求を別段高壓的なものとは見てゐず、大體左の如き見解をいだいてゐると傳へてゐる

日本軍は今や全上海をその掌中に收めたのだから租界が抗日運動の中心となることを好まないのは當然である、從つて日本の要求は別段高壓的なものとは思はぬ租界には現在百萬の支那人がゐるから租界市當局が既存權益を保持しつゝ日本の要求の合理的な部分に應ずるのはその義務である、支那と各國との取決めに影響を及ぼす問題が起つた場合は關係各國政府に移牒すべきだが、日本との地方的取決めに關する問題は市當局の權限內にある

上海税關遂に 赤谷氏を次席税關長に任命

【上海廿三日發國通】上海が皇軍の手により南京政府より完全に離された今日上海にある各支那政府機關は日本側の協力と諒解なくしてその機能の遂行は不可能な狀態に陷つたので上海税關ではこの新事態に迎合するため今回次席税關長に赤谷由助（現天津次席税關長）を任命更に新たに税收主任なる職を設けて加藤鏈一氏を任命した、右は上海の税關制度に對する日本側の勢力の進出を意味するものとして注目されてゐる

米政府は靜觀

【ワシントン廿二日發國通】日本が上海共同租界の關税郵政權接收を要求したとの報道に對し國務省ではまだ公式の情報に接しないとて一切沈默を守り靜觀の態度を持してゐる

空、陸、海渾然一體 敵に猛攻擊加ふ

地上部隊には空より彈藥補給

【上海廿三日發國通】わが陸軍飛行隊は廿三日早朝より日沒に至るまで全力を擧げて目覺しい活動を續け、地上部隊の追擊戰に協力して敗走する敵に多大の損害を與へた、即ち川村、神崎兩部隊長の指揮する○○機は寒風を衝いて長興、廣德、溧陽、江陰方面の敵狀を搜索地上部隊との連絡に任じたが、その偵察によると、無錫附近の部落は盛んに黑煙をあげて延燒し無錫から丹陽に至る道路上には敵の大部隊および車輛の亘大な列が西方に向つて退却中であり、湖州（吳興）より長興を經て宜興に至る道路上にも亦西方および北方に向け退却中の敵部隊および車輛群が認められた、湖州の西方小梅巷附近の山地には未だ敵が陣地に據つてゐるのを認めたがこれに對し地上では岡本部隊長野部隊が湖州北方に進出して猛攻擊中である、一方野中、龍兩部隊長の指揮する○○機は無錫から丹陽に敗走中の敵集團部隊に物凄い爆擊を加へ更に江陰、廣德の敵陣に爆擊を見舞つて多大の損害を與へたが、道路極めて惡く○○方面を追擊中のわが部隊に對しては空中より彈藥、糧秣等を投下して補給を行ひ空陸海混然一體となつて初雪の中を奮戰中である

東北、北海道產軍馬の優秀性立證さる

征戰二ケ月の貴重な資料

【磁縣廿三日發國通】今回の事變は產馬改良上幾多の資料を提供してゐる、京漢線最前線の○○部隊の騎馬、乘馬、輓馬等は關東、東北、北海道各地より徵發されたものが大部分であるが、凡そ二ケ月の軍事行動で病死した馬の大部分は關東地方の產であつて、背巾廣く骨太の東北、北海道產はますく健康で寒氣嚴しい北支の氣候にも慣れて最近は綿のやうな細かい防寒の毛さへ密生し、その優秀さをますく發揮してゐる、從來の內地の產馬標準は騎馬を主としたゝめ乘馬、輓馬とも速力を主とし、久力をゆるがせにする傾向があつた、今回の試練の結果軍馬としては背巾廣く骨太の東北、北海道殊に北海道產の優秀性が立證されたので、將來の產馬改良計畫上の標準を提供したものと解されてゐる

共產主義の迫害に泣くソ聯の生活狀況

悲慘振り次々から暴露さる

ソ聯の諜海工作は冷厲に進められ、統治者側の札繰を暴露してゐるが、統治者の壓制は民衆の上に加へられ、民衆の怨嗟の聲は下から國內の政狀不安に拍車をかけてゐるがその實例を述べて見よう

□

一、昨年ノールマ法が廢止されて勞働者は自由に購買會又は特定の物品を購入することを許されたが、販賣の場合良質のものは官公吏又は事務員等に販賣し、劣等品を一般民衆に强制的に賣りつけこれに抗言又は强制賣付に反對する者には物品販賣を拒絕して生活に壓迫を加へてゐる

二、ブラゴダツスキー金鑛に居住する朝鮮人勞働者に對して鮮字機關紙「先鋒」の購讀を强制し各人より一年分の購讀料金（八十ルーブル）を先納せしめたが、新聞の配給を實行せず配給を請求した者には前年の古い新聞を配給しこれに對し抗言した者はこの居住地より追放された、また同金鑛の勞働者は食糧品不足のため榮養不良に陷り病臥せるもの續出し金昌洛（四九）といふ朝鮮人勞働者は病中にも拘らず强制的に仕事に引出され從業中遂に餓死した

三、民衆を罪人扱ひにする態度も屢々繰返されてゐる、モンゴチヤ金鑛の勞働者は業を終へ歸家するとき駐屯地官憲は砂金を持歸りはせぬかと身體檢査をなす外、各人に必ずコツプ一杯の靑色の濃き水藥を强制的に飲用させ、飲用後十五分程すれば必ず腹痛を催し下痢をなし、これが繼續されるので鑛夫は非常に身體を害つてゐる

四、海においても板子一枚下は地獄である、漁夫に對して人間常識を外れた待遇が行はれてゐる、即ち浦鹽港外オリシカ漁場に於て漁船百四十隻は暴風つのり風浪高く出漁不能の日に同場政治部より出漁を强要されて出漁し七十三隻は沈沒したこの際漁場支配人は「この損害は國家財政の損害にして吾人の損害にあらず、吾れまた關知せず」と放言しこの慘事を目前に見て呵々大笑してゐた

共產主義政治の現實の姿がいかに悲慘であるかはソ聯當局の宣傳にも拘らず次第に暴露されてゐる

通常議會提出の國家總動員法案

企畫院で着々具體化

【東京國通】政府は目下企畫院に命じて

一、國家總動員計畫
一、銃後施設の擴充
一、北支經濟開發計畫
一、國際收支均衡のため輸入制限

の諸點に關し研究を進めてゐるが、右の項目のうち國家總動員計畫の法源として國家總動員法案を來るべき通常議會に提出することゝなり、瀧總裁が主宰となつて着々具體化の步を進めつゝあり、十二月末までには成案を得る運びとなつてゐる、同法案は將來豫想される戰時その他の超非常時に備へて國防國策を中心に全國力を物的、人的に總動員しようとするもので從來の時局關係法律たる爲替管理、輸出入制限、臨時資金調整法、軍需工業動員法等を一括網羅して同一計畫下に收め、一旦緩急ある場合には施行令によつてこの法律を活動せしめるやう平常より準備して置くものである、爾餘の研究項目に關しては恩給法の改正、軍事救護の擴充および輸出入制限計畫等が表面化するものと見られ、議會の協贊を要するものは關係各省の手から提出することになつてゐる

支那人の叛逆を英が援助煽動

デイリー・ニラー外報部長所論

【ニユーヨーク二十三日發國通】ニユーヨーク・デイリー・ニラー紙外報部長ヒユーゴー・ジヨージ・ロボズ氏は二十一日の紙上において支那の內部的矛盾と英國の野心を剔抉して左の如く論じてゐる

紛爭勃發の當初から國民政府及び蔣介石側近の强硬派の一味は蔣を蹉跌せしめ同時に支那の大義名分を踏みにぢらうと努力した、この一味は支那人ではあるが英國の後見を受けてゐるもので、この陰謀は本質的には叛逆と同じである、英國はスペインでやつたと同じやうな理由でこの狡猾な陰謀を援助し煽動してゐる、英國はスペインではムソリーニ首相の頭上を越してフランコ將軍と手を握り、支那では將來支那の分裂を議する會議で有利な地步を占めるやうにたくらんでゐる、また支那の窮境につけるものに地方軍閥といふ古い汚水がある、一例を擧げるならば四川省の軍閥獨裁者劉湘將軍は六十年先の租税を前取りした後に南京政府に合流した

死の街南京の外人五十六名

【上海廿三日發國通】混亂の南京は廿三日アメリカ大使館及び居住民一團の大がかりの引揚げが行はれた、即ち揚子江上に於るアメリカ艦隊旗艦ルソン號にはジョンソン大使が乘込みこれに續く一船に正午を期して乘込み死の街南京をあとに一齊に揚子江を遡航したが、このアメリカ大使館員の引揚げにより南京大使館區域に殘留する外人は僅かにアメリカ人二十四名、イギリス人二十名、ドイツ人十一名デンマーク人一名計五十六名を數へるのみとなつた

ラツクス氏 滿洲國の發展を激賞

【ブラツセル廿日發國通】カトリツク黨系ナシオン・ベルジユ紙は廿日の紙上にショーラツクス氏の滿洲國紀行記事を掲げてゐるが、同氏は滿洲國の發展振りを激賞し左の如く述べてゐる

滿洲國が以前は混亂の中に匪賊と惡政とに惱されてゐたのに反し、今日は秩序、衞生、規律など嚴として守られ、健全なる財政、公正なる行政、合理的なる課税により一路發展の道を辿り、通貨も全國唯一種に統制されてゐる、支那人の如きも始めは單に高粱、大豆の收穫のためにのみ來滿したものが遂にこの樂土に安住するに至つたものが多い、滿洲國は必ずや日本の强力なる援助により益々發展し支那に對し好個の模範を垂れることゝならう、目下滿洲國においても支那事變の結果資本の運用に制限を加へてゐるが、事變が終了すればめず大資本を必要とすべく列國がこれを均霑し得るは勿論である

各地戰況（廿四日朝まで）

▲津浦線方面 嚴寒漸く至り大黃河には流氷を見るに至つたが、皇軍は北岸一帶に全軍の集結を終り、南岸一帶に連ねられた堅固なトーチカ陣地に據る韓復榘軍と相對峙してゐるが、未だ渡河作戰には入つてゐない、皇軍は何等か期するところあるものゝ如く、濟南城攻略の戰略をめぐらしてゐる

▲京漢線方面 京漢線方面部隊は左翼津浦線方面軍の作戰に協力して百廿里にわたる陣翼を漸次南方に移動してゐる

▲上海方面 江南の原野は連日霰混りの細雨しきりで、湖沼地帶をひた押しに常熟江陰方面に進擊をつゞける皇軍將士の勞苦は言語に絕するものがあるが、全軍南京城一番乘りの榮譽を目指して勇み立つてゐる、陸海の空軍も亦これに協力し廿三日も終日退却中の敵部隊ならびに杭州、常州、江陰の陣地に超大型爆彈を雨と降らした

京都簞笥屋さん ヒ總統に日本簞笥贈呈

【京都國通】京都市高辻柳馬場簞笥商初瀨川松太郎氏は豫てドイツに日本文化を紹介するためわが國の家具中の粹ともいふべき簞笥をヒトラー總統に送る計畫を樹て外務省文化事業部を通じドイツ大使館に出願、本年一月その快諾を得たので以後腕によりをかけて製作中のところこの程見事完成したので直ちに東京に發送し日獨防共協定成立一周年記念日に當る廿五日午前十時からドイツ大使館において贈呈式を行ふことゝなつた、右簞笥は高さ六尺五寸、幅四尺五寸、奥行二尺一寸の總桐の純日本式洋服簞笥で下半分には蠟色漆繪花模樣繪卷で下繪は堂本印象畫塾の中堅作家丹羽晁勢畫伯の筆になり武士道に結ばれる日滿獨三國を表徵した櫻、菊、矢車草、蘭、上部に鶴とナチス章ハーゲンクロイツを配し銀製のイーグルの金具を用ひた優雅なものである

人事往來

着京

▲鷗田連氏（會社員）二十日來京ヤマトホテル
▲瀧川三雄氏（同）同
▲楠剛夫氏（同）同
▲大國三郎氏（同）同
▲西鄕□藏氏（同）同國都ホテル
▲奥澤宇平氏（貿易商）同
▲早川淸氏（同）同
▲長谷川資郎氏（官吏）同
▲上野友茂氏（同）同
▲岩上幸氏（商業）同
▲三木五郎氏（土木業）同中央ホテル

▲山崎桂一氏（官吏）同
▲小野八右衞門氏（淸水組）同向陽ホテル
▲遠山重治氏（同）同
▲志和俊陽氏（商業）同
▲中谷定治氏（官吏）同國際ホテル
▲見上正平氏（滿鐵社員）同
▲岡家道氏（同）同
▲大津勇氏（同）同
▲三浦萬一氏（安東地方法院次長）同滿蒙ホテル
▲久保田昇氏（會社員）同
▲八木家次郎氏（同）同
▲村上實氏（商業）同
▲小川定義氏（官吏）同都ホテル
▲立川金次郎氏（同）同
▲樋口秘藏氏（會社員）同
▲入江武男氏（電業社員）同富士屋旅館
▲井口三郎氏（官吏）同帝都ホテル
▲富口延三郎氏（日滿工業社員）同
▲八島鐵太郎氏（官吏）同

出發

▲門田龜一氏 廿三日哈市へ
▲西谷實一氏 東京へ
▲富松淸氏 奉天へ
▲高橋德衞氏 同
▲若林半氏 大連へ
▲渡長次郎氏 奉天へ
▲鶴岡壽氏 同
▲八十川政彥氏 哈市へ
▲八十川政樹氏 同
▲並木瀰十郎氏 四平街へ
▲福島重信氏 大連へ
▲大塚春富氏 齊々哈爾へ
▲三浦一雄氏 奉天へ
▲內田孝氏 安東へ
▲上條嘉一郎氏 延吉へ
▲杉村定雄氏 奉天へ
▲木村定吉氏 大連へ
▲地本喜三夫氏 哈市へ
▲齋藤安治郎氏 安東へ
▲恒吉辰男氏 哈市へ
▲佐藤福次郎氏 奉天へ
▲長谷川俊次氏 大連へ
▲大屋之氏 哈市へ
▲德本延藏氏 鐵嶺へ
▲鈴木甚助氏 奉天へ
▲大原萬千百氏 內地へ

その日く

□ 蹌踉としてブリユツセル會議は、無期休會の結末へ辿りつく

□ いまは何處に訴へやうと、重慶からの道の遠さを嘆ずる黨國諸公であらう

□ ソ聯突如大使を更迭さす、その自國製飛行機のやうに墜されんやう用心する事だ

□ 上海等の海關に來る新時代こゝにもはや英國の衰勢は明瞭となつた

□ この期に及んで南京中立地帶化案の如きは愚、自國の中立を守るに專心するがいゝ

南京陥落を期し 大々的提灯行列

戰捷に意氣込む郷軍 二十七日公會堂で打合せ會

在郷軍人會新京聯合分會では戰局の推移につれて種々の戰捷記念行事を催して來たが、更に來るべき南京陥落の歴史的戰捷に際して大々的に提灯行列を行ふことに決定して着々準備中である、この打合及び治廢及び附屬地行政權移讓に伴つて分會管轄其の他種々變更すべき點が有る爲に依る事務打合せをする爲各分會長副分會長、事務擔當者が二十七日午後二時より記念公會堂第二會議室にて會合を行ふこととなつた

治廢祝賀式次第

市公署主催の治外法權撤廢、附屬地行政權移讓記念祝賀式は十二月一日正午より記念公會堂に於て左の順序で擧行せられることゝなつたが招待者は日滿官民千二百名の多數に上つてゐる

一、一同入場
二、國旗敬禮
三、開會の辭　横田總務科長
四、挨拶　徐特別市長
五、祝辭
六、開宴
七、萬歳三唱
八、閉會之辭　横田總務科長

中に付き受付けることになつてゐるから協和會館へ持參又は通知ありたいと主催者側では希望してゐる、尚既報後の整理濟の主なるものは恩賞局の百、興安局の四十と七十三圓、南嶺町內會百五十、協和會朝日區分會五百十三、同治安部分會二十三と四百五十七圓、同地籍整理局分會の三百二十、同營繕需品局分會第一次募集の百十五等の外協和會婦人會共各分會より追加分が續々集つてゐる

自治委員表彰式

十一月二十三日をもつて從來の特別市自治委員十二名は任期滿了となるので來る二十七日午前十一時から市長室にて自治委員並に科長以上參列のもとにこれが表彰式を擧行することゝなつた、式次第は左の如くである

一、一同着席
二、挨拶　市長
三、感謝狀並に記念品授與
四、挨拶　自治委員代表
五、閉會

拾つて逃げる處を捕へる

二十三日午後六時頃奉天稻葉町吉川組木材部飯田國信氏は五圓餘在中の蟇口を新京驛四號出札口前で紛失したが、右は附近徘徊中の馬車夫山東省生れ特別市南關宋獻和(二六)が拾得持ち去らんとするを警戒中の驛詰所村中巡査が發見本人の手に戻つた馬車夫は目下本署に於て取調べ中である

赤塚商業學校長 本社へ榮轉

後任には志崎九五郎氏

新京商業學校長赤塚吉次郎氏は今回本社總裁室勤務に轉勤その後任には奉天青年學校長志崎九五郎氏が決定近日正式發表を見ることゝなつた、志崎氏は東京高師物理科出身で全滿教育界稀に見る硬骨漢であり同氏の着任により京商の校風も一大變化を來すものと見られてゐる【寫眞は赤塚氏】

滿鐵社員會 第二回慰問使

北支へ四班、上海へ一班

滿鐵社員會では北支及び上海の皇軍並に社員に對し第二回の慰問を行ふことになつた、この方法は北支を四班、上海を一班とし各班は大體社員會より二名、社友會より一名都合三名とし慰問の內容は正月を前にしてゐるので北支及上海陸海軍へは餅代、社員へは餅、蜜柑、するめといふことに決定した

招く銀世界の魅力 スキー豪華展開催

多彩な趣向に盛る盛觀

本社後援十二月八日から五日間

滿鐵、鐵道總局、ジャパン・ツーリスト・ビューロー主催、本社後援のスキー展覽會は市民待望の裡に來る十二月八日より五日間三中井百貨店にて盛大に擧行されることになり目下各方面に亙り資料の蒐集に大童であるが特に雪の國新潟よりは郷土色豊かな各種スキー並に防寒具等の出品がある筈、また總局では百餘人と數百圓の經費をかけた奥行八尺、横十八尺、高さ一丈電氣仕掛の土們嶺スキー場の大パノラマを始めジオラマ、寫眞その他多數の出品あり空前の壯觀が期待されてゐる、その外スキー座談會、スキーの夕べ等盛り澤山な催しで會期中の賑はひは展覽會の超豪華版である

スキー展覽會

▼「パノラマ一景」土們嶺スキー場(奥行八尺、横一八尺、高さ一丈)會場內の主要觀點をスキー場、スキー滑走を動的に表示し山小屋を配す▼「ジオラマ三景」山城鎭、撫順及吉林スキー場(奥行三尺五寸、横六尺五寸)▼「スキー案內小屋」山城鎭、撫順、吉林(奥行五尺、横六尺)スキー案內記類を用意しスキー地及スキーに關する一般入場者の質疑應答並宣傳を爲す▼スキー用具、服裝品、携帶品の商品陳列(展示物はスキー地鳥瞰圖、溫泉所在地挿入)各スキー場說明表、各スキー場案內圖、滑り方圖解表、スキー用具、服裝、携帶品等、寫眞(スキー場四箇所、スキー情景寫眞)ポスター、パンフレット類(滿洲及內外各地ポスター、パンフレット)

スキーの夕べ

前記スキー展開催趣意に依り一般大衆にスキー宣傳の一方法として奉天、新京に於てスキーの夕べ開催、スキー展と並行的に開催宣傳せんとす

▼會場 西廣場滿鐵社員俱樂部、期日十二月十一日午後六時三十分より約三時間 ▼プログラム ▼挨拶 稻川新京驛長▼スキーの話 小秋元隆邦氏▼音樂と獨唱舞踊(扇芳會館專屬アカキハタ●タンゴアンサンブル出演歌手關屋良子、舞踊扇芳亭秀次)イ、エル、アコモド(パソドブル)ロ、アルカラ(タンゴ)ハ、人の氣も知らないで(ワルツ)ニ、マリネラ(ルムバ)ホ、綠の地平線(トロット)ヘ、波を越えて(スケータ)ト、ラ、カンパルシータ(タンゴ)チ、隅田川▼映畫(雪は招く、四季の日本)▼講演「時局と心身鍛錬」新京日日新聞社代表上田賢象氏▼新劇板垣守正作「岐路」一幕

スキー座談會

十二月十日午後五時より扇芳亭グリルにて、出席者は田中體育聯盟主事、小秋元隆邦氏、吉田秀雄氏、放送局員、新京日日伊藤氏、總局松宮氏、新京支社仲田氏、吉林鐵路局旅客課員及福社員、ビューロー田口氏など

電報局及び分局の廢止

電々會社では十一月二十二日限り左記電報局及分局を廢止することゝなつたが從來當該局にて取扱ひたる事務は海城電報電話局が繼承する

海城々內電報局(奉天省海城々內胡同)
海城電報電話局城內分局(同海城々內大街路東)

傷病兵凱旋

新京陸軍病院にて療養中であつた傷病兵二十七名は二十六日午後四時四十分新京發內地原隊へと歸還するが市民多數の見送りを希望されてゐる

遊興費のかたに 物騷！拳銃一挺

しかも拳銃は盜んだもの

特別市長春大街白楊寮電々社員野村喜久治氏は十七日午前零時頃モーゼル拳銃三號一挺及彈丸六發を何者かに竊取され驚いて屆出で新京警察署岩田刑事檢證の結果、同夜訪問した本籍奈良縣北葛城郡有井村、住所不定高木正夫(二七)の犯行と睨み容疑者として直ちに手配、時局柄極力捜査中のところ廿三日午後八時頃入舟町四丁目圓宿新京閣に本籍を詐稱投宿中を突き止めた新京署谷本、二田口刑事が踏み込んで逮捕したが、自白によれば高木は昭和十一年五月竊盜詐欺で懲役八ヶ月を刑せられ本年春錦警刑務所を出所以來哈爾濱方面を轉々とした後今月上旬再び新京に舞ひ戻り元民政部勤務中同僚であつた前記野村氏の令弟を頼つて十七日同家を訪問家人が便所に行つた隙に竊取し、翌十八日は三笠町三丁目知人堀口某を訪問就職したから身元保證金をと金二十圓を詐取して同夜城內五馬路料理店上州樓に一泊十八圓六十五錢を遊興の上物騷な右拳銃を抵當に置いたものであつた、尚拳銃を遊興代に受取つた上州樓は處分せられるものと見られてゐる

活佛來京

二十四日午後六時二十分のあじあで來京する西藏後藏の活佛安欽呼圖克圖氏は二十五日午後三時四十分滿鐵新京支社を訪問する

軍警慰問袋

まだ受付ける

全市民の熱誠溢るゝ日滿軍警慰問袋は國防婦人、婦女兩會員の連日の努力に依つて着々整理中であるが一設市民側に締切り間際に作成した爲其のまゝ殘つてゐるものが相當有る模樣なので、現在まだ整理

滿鐵の虛禮廢止 具體案協議

全滿を打つて一丸に

滿鐵社員會の年末年始虛禮廢止運動は全滿各聯合會相呼應して猛運動を開始することゝなつたが新京聯合會では二十六日午後二時から支社會議室で役員會を開き具體案を決定する

阿片零賣所を市公署の公營に

合理的統制を行ふ

新京特別市公署では麻藥斷禁政策の重要側面工作として城內四十八(附屬地八は十二月一日より市公署に移讓)の阿片零賣所の公營を實施すべく目下調査を進めてゐるが、市公署では本年中に全部の零賣所を買收し、來年早々直營の管煙所數ヶ所を市內に解放し麻藥販賣並に吸飲施設の合理的統制を行ふこととなつた

東京大會を前に

躍進物凄き歐米陸上競技界

一九三七年度の歐米陸上競技界は東京で開催される豫定の次回世界オリンピックに備へる準備の第一年として非常な躍進振りを見せてゐる、しかし依然として米國が世界陸上競技界の王座を占めてゐることには變りなく、その他の歐洲チームとしてはドイツ、フインランドが好成績である

最近スイスのテアヌボルト紙の調査に依る世界陸上競技界の十傑表に現れた次回オリンピック大會のお膝元たる日本選手の顏ぶれを見ると

△一萬米「村社」卅分卅二秒(三位)
△棒高跳「大江」四米卅五(六位)
△三段跳「戸上」十五米五十七(二位)「福田」十四米九十二(八位)

などあり、又ボルト紙の調査にも多少の誤りがあるし、その他にも棒高跳陣に朝隈など控えてゐて跳躍陣はともかくとして村社一人の長距離陣營に短距離の日本陣營は何んとしても一抹の淋しさを覆ふ可くもないが、刻々に躍進しつゝある世界陸上競技界と歩調を揃へ次回の東京における世界オリンピックに踏彊豪を向ふに廻して覇を爭ふ驚異的な新人が殘されたる短日月に出現するか、現在の日本陸上競技軍の第二、三陣に世界的レベルまで躍り上る選手が出るかどうかは日本陸上競技界の最大なる宿題である

行方不明の周恩來

山西に現はる

【上海廿三日發國通】事變發生以來南京に踏み止まり暗躍を續けつゝあつた周恩來は凡そ十日前より突如南京より姿を晦しその行方については多大の疑惑を呼んでゐたところ確報によれば周恩來は山西々北部の第八路軍司令部にあることが明かとなつた

中央通信社 發行中止

【上海廿三日發國通】中央通信社上海支社は二十三日限り上海における通信發行を中止する旨發表した

福岡高女同窓會

福岡縣立福岡高女同窓會及び香蘭會新京支部第一回總會は二十五日正午三中井食堂特別室に於て開催する、會費一圓御通知洩れの方は御誘合せの上多數出席希望の由

◇……糖糊芦巷に充つ

消える新京領警両署今昔物語(十二)

新京署最後の犠牲 日高刑事の殊勳

名實共に國都に恥ぢぬ警察

星霜五年驚異的躍進滿洲建國史を繙く時いとまもなく展開されるこれ等歷史的諸儀は一に國都新京に於てなされたもので、而してこの國運の伸張飛躍はひいて草花長春をして夢想だもなし得なかつた現在吾々の眼前に浮ぶ文化の都

國都大新京の

偉容を顯現せしめたのである、世界の驚異と言ふも決して誇張の表現ではなかつた、以上滿洲國の輝く鴻業史をたど〳〵しく列記せる事他に非ず即ち滿洲事變勃發續いて昭和七年一月十五日新京警察署と改稱せられてより邊境の守りから一轉して國都の守りに變へられ建國の歷史的諸行事に又日滿顯官要人の警衞、警備は勿論我大陸國策の大使命に向つて一意專心努め來つたのみならず尚且世界に誇る日本警察精神に陶治され充實完備せる大新京署を完成するに至つた偉大なる功績が其蔭に秘められてゐるが故にである、敢てその努力その功績を列記する迄もなく滿洲建國史と共に不滅に存在するものであらうことを強く言はんとするものに他ならなかつたのである、かくして新京署は國都の警察署として滿洲建國史と共に他に誇る不滅の功績を殘したが、また反面特異性に滿ちた新興都市としての治安確保に活躍せるを忘れてはならないのである、その昔嫌はれた馬匪賊横行の殺伐の地長春より明朗國都として吾々の誇る現實の新京を建設するに至つたことは又新京署の活躍に俟つところのもの甚だ大であつたからであるこゝにペンを再び過去に走らせて特異性國都の中に活躍した同署の足跡を辿つて本稿の結末へ急ぐことゝする

十六代 廣石警部

×

事變勃發後一時敗殘兵が匪化し警備機關は日夜彼等の横行に惱まされたが、討伐に捜索に死力を盡し或は軍の討伐に協力する等眞に涙ぐましい活動を續け在留民又克く警戒、警備に後援、官民一致してこれを守つた、建國なつて長春一躍國都新京と其面目を改めるや警備もまた日本側憲兵隊の強化と相俟つて首都警察廳始め日系官吏の俊豪を集めた滿洲國警備機關が近代的警察組織を圖るに及んでさしもの

猛烈を極めた

長春名物の馬賊も漸次斷末魔に追ひやられたが昭和八年同署管下の拳銃强盜尚六十五件を數へ、その年三月六日新京附屬地西南方寬爪溝部落に匪賊團潛伏中を探知した司法係は時の平林警部補池田刑事部長の一隊と、倉田司法主任、谷口刑事の一隊、二隊を編成して敢然立つて逮捕に向つた此一隊に加はつた日高若彥巡査及李秀芝巡捕は勇猛果敢に鬪ひ不幸匪彈の爲に名譽の殉職をした兩氏また鮮血史を彩る新京署最後の殉職者でもあつた

滿鮮日報 兩氏挨拶

滿鮮日報社販賣部長李啓白、同營業局次長桃亭基兩氏は二十四日挨拶に來社

岡野警部來社

二十三日夜着任した新京署警部岡野清氏は二十四日挨拶に來社

あす(廿五日)

▲室町小學校音樂會、午後一時、同校講堂
▲家庭防護隊結成式、午後二時、公會堂
▲冀東政府代表祝賀茶會、午後三時、ヤマトホテル
▲蒙古紹介展、寶山

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇連續科學小說「或る光線」(東京)木々高太郎外
▲八・四〇交響樂(哈爾濱交響樂團)

八島ひで子の挨拶と舞踊
けふから朝日座

朝日座廿四日よりの番組は左記東寶、今井、マキノトーキー作品二本立であるが、今週は今井映畫封切披露興行として元新興京都スター八島秀子さん同小島春子さん三人の「挨拶と舞踊」がある、八島ひで子さんはマキノトーキーより今井映畫に轉向した人、八島ひで子といふ名より銀幕の上では寶久美子の名で知られてゐる、娘役が多いやうである

▽東寶今井「青葉城異變」海江田譲二、高津愛子、寶久美子の主演する映畫で江戸幕府の隠密政策に取材したもの、伊達家に潜入した二人の隠密の中一人は補はれ、一人は傷を負つて逃げて來た、捕はれた一人を奪還するために新しい隠密が派遣されるところから、これを妨げる伊達家の劍士達との間に爭闘が展開する、兒井英男の監督作品

▲マキノトーキー「青春五人男」田村邦男、月澄江、水源鮫一郎、金澤千惠子、榛三四郎等主演の學生もの サトウハチロー原作による姓丸浩の監督作品、前後篇

戰士の道
けふからの新京キネマ

新京キネマ廿四日よりの番組は別項「江戸の荒鷲」と日活多摩川「戰士の道」の二本立である

「戰士の道」は街の不良兒が前線に送られて砲火の洗禮の中に毅然祖國愛に目覺め勇ましくも涙ぐましい散華を遂げるまでの涅ましい戰士の道を描いた軍國もの 竹田敏彦の原作、小國英雄のシナリオ、監督には首藤壽久が擔つた、江川宇禮雄、黒田記代、大城龍太郎の共演

梁川庄八
けふからの銀キネ

銀座キネマ廿四日よりの番組は左の如く新興、大都作品を配した三本立である

▽新興京都「梁川庄八」大谷日出夫主演の講談もの、天下の豪傑梁川庄八の武勇傳の一くさり、尾上榮五郎、嵐德三郎、芝田新、甲斐世津子、葛木香一助演、渡邊新太郎監督作品

▽大都「琵琶歌」前科者を父にもつたが故に愛人とも分れなければならなくなつた薄幸の美人の悲劇、琴糸路主演

▽大都「影法師江戸追放」大乘寺八郎、佐久間妙子主演のチャンバラもの

◇◇江戸の荒鷲◇◇

日活京都、比佐芳武のオリヂナルものによるマキノ正博の監督作品、片岡千惠藏と轟夕起子が顔合せする他に尾上菊太郎、原健作、原駒子山本禮三郎、瀬川路三郎、香川良介、志村喬、尾上華丈、藤川三之祐など相變らず脇役陣は豐富 天保は江戸の五人男のピカ一、此村大吉の戀と劍の爭闘篇、千惠藏は此村大吉と、此村大吉をモデルに定九郎を創造したといふ中村仲藏の二役を勤める、撮影は石本秀雄、新京キネマ廿四日封切

錦グリルからミュジックへ行つたハツチャン、今度新装成つた平本洋行の喫茶部に勿論給與品ではあるが颯爽たる服を着て例の調子で笑つてゐるだがファンよ安心あれ彼女決して腰が坐らんで動くのではなく、いゝ子だいゝ子だと望まれて次々へ移るんです、正月を迎へると十九とやら、今度移る時は簞笥、長持をもつて行くさうです▲同じくこゝの米ちやん毎日來る二人連れの家族連れを見てはいゝわねと夢見るやうな氣持で陶然として居る、あまり呆然としすぎたある日突然鳴つた電話のベルに驚いて振り向くとたんに柱におでこを打つて今絆創膏をはつて氣に病んで居る、十七だと云ふがちと早すぎるやうな氣もするね▲奉天の滿毛から來た秀ちやん一番姉さんだけに落ちついて居る、それもそのはず大分貯金があるさうな

雑音

三館けふから寫眞替り、朝日座にスター挨拶、銀キネは三本立、多彩化するためには色々な工夫も要らう、新興大都の三本立などゝいふことも起り得る譯である▼長春座流石に今週の入りはいゝ、次いで年末にかけて案外見られる寫眞が並んでゐる、廿八日からの「母への抗議」「狼火」に次いで十二月第一週には清水の「風の中の子供」と岡田嘉子の「お靜禮三」第二週が「曉は遂げれど」第三週に「淺草の灯」などの豫定である▼もつとも近頃はよく番組がグラツクので愈よ開けてみないと本極りとはならない▼宣傳が出來なくて困るとは大方の常設館の言葉、誰れがさうするのか、思ひ當る筋があらう

全滿の濕地干拓 明春から着手
第一次は二十一萬八千町歩を

全滿各地四百萬町歩の濕地干拓に就いては滿洲國、滿拓、滿鐵協力の下に種々準備を進めてゐるが滿鐵では龍江省洮兒河流域廿萬町歩の内十萬町歩、滿洲國では安東省太洋河上流二萬五千町歩および三江省鶴立崗東部一萬町歩、滿拓では吉林省新京西部新開河流域五萬町歩および三江省密山北部三萬三千町歩を第一着手とし既に調査を完了、愈よ明年四月からはこれ等合計廿一萬八千町歩の濕地干拓に乘出すこととなつた、以上の地域は治水その他につき何れも多額の經費を必要としない地域で、これが良成績を擧げるやうになれば玆に滿洲の濕地干拓會社の設立も行はれるものでその成果は期待されてゐる

本月中旬に於ける 新京商況概要
＝新京商工會議所調査＝

新京商工會議所調、十一月中旬に於ける新京商況の概要は左の如くであつた

大豆　上旬末强調の後を受け當限五圓五十錢と四錢五厘高に寄付いたが、利喰の賣物現れて後場四十三錢と急落、跡小口の買物に持直し漸騰十五日引續き小口買に當限五圓五十三錢、十二月限久振りに五圓四十九錢と立會五十二錢と上伸、十六日實需筋買進み奥地强調に當限六十一錢と漸騰したが後場引きは五十六錢と反落、十七日奥地筋の買物多く當限六十六錢、十二月限六十八錢と反撥、跡買一巡に軟化して十八日當限五十錢五厘十二月限五十五錢を示現、十九日は輸出筋の買氣入報に反撥、二十日當限五圓六十三錢、十二月限五圓六十七錢と大引越旬した

△旬中出來高

	十一月限	十二月限	合計
大豆	二、〇六三車	一四六九車	三、五三二車

△旬中出來値

	(高値)	(安値)
十一月限	五圓六十七錢	五圓三十三錢
十二月限	五圓六十九錢	五圓四十四錢

△旬中大連出來高

現物	一、九一〇車
先物	二、八〇七車
合計	四、七一七車

△旬中哈爾濱出來高

先物	四、〇九五車

高粱

△旬中大連出來高

現物	二六車
先物	四五〇車
合計	四七六車

出來不申

麥粉　旬初原料小麥は八圓十錢台と最近の安値を示現したのと、大連市場に於ける滿洲粉入荷に南滿方面は高値警戒の買控へとなり氣勢昂らず、十六日迄四圓八十錢台を往來したが、十七日哈市定期小麥は大豆高と在荷薄を眺め旁々貨車繰の關係で奔騰、十八日には惡天候も手傳つて二月限八圓五十錢と暴騰した爲本品も實需を緣視して五錢乃至十錢方昂騰、氣配堅調裡に越旬した

△旬末相場左の如し

銘柄	上旬末	中旬末
新京 綠紅龍	四、四〇	五、〇〇
同 紅龍	四、六五	四、六五
藍滿粉	三、九五	四、一五
北滿 綠三星	四、八五	四、四〇
同 紅三星	四、六五	四、七〇

白米

	上旬末	中旬末
紅二星	三、九五	四、一〇

籾の出廻り引續き良好で相場は當然低下すべき筈ながら貨車繰り狀態が依然緩和しないのと滿商筋の大口買入もあつて相場保合裡に推移越旬した

品名	上旬末 圓	中旬末 圓
特等白米	八、四〇	八、四〇
一等白米	八、〇〇	八、〇〇

麻袋　特産出廻り良好に引續き實需筋の入注あり氣配軟りを示せるも蜜池相場の浮動を移して當地相場も上下し、旬末に至り結局青五十五錢鐵五十二錢と唱へ商内活況裡に越旬した

△旬末相場左の如し

品名	上旬末 錢	中旬末 錢
鐵筋	五三、五〇	五二、〇〇
青筋	五五、〇〇	五五、〇〇

木材　本年度の需要期も終末を告げたる爲め各製材工場はいづれも本旬中に續々操業を休止し旬末迄操業を繼續して居るものは一、二を數ふるに過ぎず、相場も依然釘付のまゝ極めて閑散裡に越旬した

△旬末相場左の如し(單位一尺)

品名		上旬末 圓	中旬末 圓
紅松(二間物)	柚角	一、三〇	一、三〇
同(四間物)	同	一、四八	一、四八
同 挽材		一、五五	一、五五
同 四分板		一、七二	一、七二
同 六分板		一、五五	一、五五
白松(二間物)	柚角	一、一〇	一、一〇
同(四間物)	同	一、三〇	一、三〇
同 挽材		一、五〇	一、五〇
同 四分板		一、六〇	一、六〇
同 六分板		一、五〇	一、五〇
胡桃柚角		一、七〇	一、七〇

建築材料

品名	單位	上旬末	中旬末
鹽地柚角		一、六〇	一、六〇

平鐵板類及釘は需要期を過ぎた折柄入荷も漸增した爲め相場低落を來したが、分厚物及浪鐵板は二、三反騰を示せるものも有り、他品はいづれも保合のまゝ商內閑散裡に越旬した

△旬末相場左の如し

品名	單位	上旬末 圓	中旬末 圓
丸鐵五分	100瓩	三三、〇〇	三三、〇〇
亞鉛引鐵板 三〇番	一枚	一、四一	一、三五
同 二八番	同	一、七五	一、六二
同 二六番	同	二、一〇	二、一七
亞鉛引浪鐵板 三〇番	同	一、四一	一、四五
同 二八番	同	一、七七	一、七七
鐵板 一分厚	100瓩	三四、〇〇	三五、五〇
釘二吋	一樽	六〇瓩 一八、五〇	一八、一〇
針金 八番線	五〇瓩	一四、五〇	一四、五〇
洋灰 小野田	五〇瓩	一、五〇	一、五〇
同 大同	同	一、五〇	一、五〇
板硝子 二尺三尺十七枚入	一箱	一〇、七〇	一〇、七〇
ペイントA印	三、五瓩	九、五〇	九、五〇

綿糸布　內地市況は海外稍々見直し原棉手當困難で綿糸操短の擴張となり相場强化、當地市況は實需漸增して相場軟り氣味ながら新規約定なく市況頗る閑散裡に越旬した

△旬末相場左の如し

品名	單位	上旬末	中旬末
撚糸達搭	一梱	三三一、〇〇	四四〇、〇〇
平糸桂月	同	三三五、〇〇	三三〇、〇〇
粗布達搭	一反	八、一〇	八、六〇
細綾人面	同	七、三五	七、五〇
細布軍人	同	一〇、一五	九、五五
大尺布青天童子	同		
細布達搭	同	九、三五	九、三〇

紙類　特産の出廻順調となつたため斯品の奥地向荷動き稍繁忙を呈するに至つたが相場は前旬末以來不動保合のまゝ推移した

△旬末相場左の如し

品名	上旬末	中旬末
模造紙	三三五	三三五
印刷紙	七、三〇	七、三〇
更紙	四、五〇	四、三〇
有光紙	品切れ	
仙鶴連史		
古新聞紙	三、五〇	三、五〇

砂糖　外糖は旬初强調に轉じたが旬央頃より又復反落、日本市場は端境相場を示現して舊糖はジャワ糖採算を上廻り新糖亦採算一杯の高値を示現、大連市場も之を映じて氣配は軟り乍ら、天津向輸出懸念と滿洲奥地の買一服とで追隨困難、日糖J標九圓十五錢を唱へ、當市は大口取引皆無、只だ背後地特産の出廻により小口商內を見るのみで相場は氷糖が三十錢方低落した外、地品は保合、商況閑散裡に越旬した

△旬末相場左の如し

會社名	商標	單位	上旬末	中旬末
日糖	J	一俵(100斤)	三三、二〇	三三、二〇
同	N	同	二二、八〇	二二、八〇
同	SH	同	二一、五〇	二一、五〇
滿糖	瑞牌	同	二一、六〇	二一、六〇
同	財牌	同	二一、八〇	二一、八〇
北滿	阿什河角糖	一箱(三包)	四、八〇	四、八〇
旭	氷糖	一箱(五〇斤)	一〇、八〇	一〇、五〇

鮮果　林檎、蜜柑類は地場の賣行良好なるも未だ本格的需要期に入らないため背後地向荷捌活潑ならず、相場は林檎國光が品薄の爲め二十錢方昂騰、蜜柑類は産地安の爲め夫々三十錢五十錢方低落した、尙梨二十世紀は依然品薄乍ら相場變らず、バナナは品傷みの爲め一圓方低落、柿は入荷減の爲五十錢方上伸した

△旬末相場左の如し

品名	容量	品種	上旬末	中旬末
林檎	四貫入	國光	四、一〇	四、三〇
同	同	紅玉	二、八〇	二、八〇
同	同	倭錦	二、四〇	二、一〇
蜜柑	六貫五百入	伊豫物	五、〇〇	四、七〇
同	四貫入	紀州物	四、五〇	四、〇〇
梨	三貫五百入	鳥取二十世紀	七、〇〇	七、〇〇
バナナ	一〇〇斤	上物	一三、〇〇	一二、〇〇
柿	四貫入	富有柿	四、五〇	五、〇〇

全滿各市小賣物價 十月は微騰す
―前年比十パーセント高―

十月中における全滿主要廿二都市の生活必需品小賣物價指數を觀るにその總物價指數は前月を基準とせば一〇〇・九にして〇・九%の微騰、前年同月を基準とせば一一〇・六にして一〇・六%の騰貴を示してゐる、更に新京、奉天、哈爾濱、吉林、齊々哈爾、營口及び安東の七大都市における總物價指數(康德元年平均基準)は一三五・七にして即ち三五・七%の騰貴を示し、なほ前月對比は〇・四%、前年同月對比は九・三%の騰貴である、而上廿二都市及び七大都市の各指數より觀て本月においては全滿一般的に騰勢の傾向を示してゐる、更に本月における物價指數を類別によりその變動の騰勢を%をもつて示せば次表の如し(無印は騰、×印は下落)

類別	前月基準(廿二都市物價指數)	前年同月基準(廿二都市物價指數)
穀類	一、七	一三、六
蔬菜	八、五	三五、一
魚類及肉類	×〇、五	一五、五
其他食料品	一、五	一一、一
調味嗜好品	〇、七	一〇、四
衣料及雜類	〇、四	一一、七
燈火燃料	一、一	六、一
總平均	〇、九	一〇、六

さらに本月における廿二都市別の(新京基準前月基準、前年同月基準)總物價指數につきその變動趨勢を%により示せば次表の如し

地名	(新京)基準	前月基準	前年同月基準
新京	一〇〇、〇	一、三	一〇、一
奉天	×二、五	×〇、六	七、一
哈爾濱	三、八	二、〇	八、七
吉林	×〇、六	×一、〇	一三、一
齊々哈爾	五、二	一、八	一四、九
營口	一、七	〇、三	一〇、八
安東	〇、四	保合	一〇、一
遼源	〇、二	〇、四	一一、一
洮南	〇、七	一、三	一三、一
海倫	一〇、九	一、三	一二、〇
錦州	二、六	一、八	一七、〇
延吉	一、九	〇、六	二、一
一面坡	七、九	×一、五	二二、一
寧安	三、八	〇、六	一八、一
依蘭	一七、六	一、九	七、九
富錦	二三、四	二、五	一五、一
海拉爾	二一、五	一、五	一〇、七
承德	〇、五	〇、五	八、七
赤峰	二、六	〇、四	一〇、八
黑河	二三、七	一、五	二二、六
山城鎭	〇、九	〇、九	一〇、九
佳木斯	一九、一	一	一
總平均	×一、〇〇	〇、九	一〇、六

水產資源調查規則
二十四日公布の產業部令

資源調查法第一條の規定により水產資源調查規則が產業部令をもつて二十四日公布されたが全文左の如し

第一條　特別市長又は市縣旗長は實地申告その他の方法により每年別表各號樣式に記載する事項を調查し各その樣式により報告書を作成し特別市長にありては各その樣式に附記する期限までに產業部大臣に、市縣旗長にありては省長の定むる期限までに省長にこれを提出すべし

第二條　漁業又は水產物の製造業をなす者は當該官吏又は吏員より前條の實地申告を求められたるときはこれが申告をなすべし

第三條　省長第一條の規定に依り報告書を受理したるときは審查の上別表各號樣式に準じ市縣旗別に區分して之を整理集計し同樣式に附記する期限迄に之を產業部大臣に提出すべし

第四條　本則に依り蒐集したる資料は統計上の目的以外に之を使用することを得ず但し人的及物的資源の統制運用計畫の設定及遂行に必要ある場合は此の限に在らず

前項の資料は統計上の目的に使用する場合と雖も省長特別市長又は市縣旗長之を發表せんとするときは豫め產業部大臣の認可を受くべし

附　則

本則は資源調查法施行の日より之を施行す

新京取引所 前週取引週報

混保大豆　先物　週初十五日十一月限五圓四十三錢、十二月限五圓四十四錢と呆やりに寄付いたが、週中を通じて歐洲相場は動かず、輸出筋の活動もなく、只實需筋の小口買と埠頭在貨の不勢に、奥地筋の煎れ物も加はつて週央十七日には十一月限五圓六十五錢五厘、十二月限五圓六十七錢と上伸を見せた、跡週末へかけては仕手逼塞に五圓五十錢台に低迷し、五、六錢巾の氣迷商狀を繰返すに過ぎなかつたが、二十日には十一月限圓六十三錢、十二月限五圓六十七錢と小締つて越週した

	高値	安値	出來高
十一月限	五、六七〇	五、四三〇	一〇〇
十二月限	五、六八〇	五、四三〇	一、三六八

高粱　先物　週初十五日に十二月限三圓六十錢で久方振りに一車の商內を見たのみ、跡引續き出來不申に終つた

本週總出來高一、六四八車一日平均二七五車

	高値	安値	出來高
十二月限	三、六〇〇	三、六〇〇	一

間島新大豆 入札開始さる

間島省內の本年度大豆共同販賣は生產者地方農民の信賴と本年の大農作によつて早くも廿日現在入札濟量は十四車(一車二百二十二石)に達しこれを昨年同期の十車(二千二百廿石)に比すれば四車八百八十八石の增加である、省昨年度共同販賣輸出總額は三百百餘萬圓であつたが本年度は約七萬石でこれが價格九最小限度四百車九萬石臺を突破する見込みで省當局は實業科を中心に各縣農事合作社に於て共販の趣旨宣傳に懸命の努力を盡して居り、又一方檢查も嚴重に行つて居り共販の趣旨徹底と共に益々その成績は見るべきものがある

商況欄 (廿四日前場)
海外經濟電報

倫敦金塊	七磅〇志一片〇〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇〇
倫敦銀塊	一九片一六分三
同先限	一九片一六分九
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	五〇留比六分一
スチール株	五一弗四分一
アナゴンダ株	二六弗四分三

▲市俄古小麥

十二月限	八九仙八分七
五月限	八九仙八分三
七月限	八四仙八分一

▲紐育棉花

現物	七仙九九
十二月限	七仙八四
一月限	七仙八四
三月限	七仙八八
五月限	八仙〇四
七月限	八仙〇〇
十月限	八仙〇九

▲印棉

ブローチ	一六一留比八分一
オームラ	一四八留比〇〇〇
ベンゴール	一三九留比〇〇〇

▲カルカツタ麻袋

青筋	二三留比六分七
鐵筋	二一留比八分一

▲外國爲替

英米爲替	五弗〇〇一六七
米日爲替	二九弗一五仙
英日爲替	一志二片〇〇
米支爲替	二九弗七五仙
英支爲替	一志二片三分九
印日爲替	七七留比二分一

▲滿洲中銀爲替

上海向	九八弗一
天津向	九八弗一
紐育向	二九弗八分一
倫敦向	一志二片一

金銀市況

●上海標金　本寄步

▲阪神爲替

對米賣	二九弗一六分一
對米買	二九弗一六分三
對英賣	一志二片〇〇〇
對英買	三二分一〇

各地株式市況

▲東京株式(短期)

銘柄	寄付	大引
新東	一五三五	一五三六〇
東鐘	七〇一〇	七〇一〇
新鐘	三六四〇	三六五〇
日產		
滿鐵	一	一
新大	八五六〇	八六〇〇

▲大阪株式(短期)

銘柄	寄付	大引
新東	八五七〇	八六二〇
鐘紡	一五三〇	一五三九〇
新鐘	三七九〇	三七九〇
日產	七六〇	七六六〇
大新	六五八〇	六六五〇

▲大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
日品	一五五七〇	一五五九〇
新豆	五三四五	五四四〇
新東	七八四〇	七七七〇
新滿	三三〇〇	三三八〇
新日		
木土	一二〇	一一三〇
新五	六二〇	六二〇

各地商品市況

▲大阪綿糸　寄付　大引

▲大阪棉花　寄付 / 大引

十二月限	三三三〇	三三〇〇
一月限	三三一〇	三三七〇
二月限	三三三〇	三三三〇
三月限	三三九〇	三三九〇
四月限	三三九〇	三三九〇
五月限	三二七〇	三二七〇

▲大阪人絹

	納	會
當限	三〇	三二五
先限		

▲大阪期米

當限	六〇〇	六〇四〇
先限	三一六〇	三一九〇

▲橫濱生糸

當限		
中限		
先限		
現物	六〇	六〇
當限	六一	
先限	六〇六	六〇七

各地特產市況

▲新京

	寄	引	出來高
現物 大豆	一	一	一
高粱	一	一	一
玉蜀黍	一	一	一
米高粱	一	一	一
小豆	一	一	一
先物	一	一	一
●大豆 十一月限	五、五〇	五、四八	一八車
十二月限	五、五六	五、五三	三車
●高粱 十二月限	三、六〇	一	一車

▲大連

	寄付	大引
●大豆 袋入 十一月限	六、五三	六、五〇
十二月限	六、三三	六、三三
一月限	六、三五	六、三五
二月限	六、四四	六、四九
三月限	六、四七	六、四三
●豆粕 現物	二、九五	二、九五
十二月限	二、九〇	二、九五
一月限	三、〇〇	三、〇〇
二月限	二、九五	三、〇〇
三月限	二、九五	三、一〇
四月限	一	一
●豆油 現物	一四、四〇	一四、六〇
十二月限	一	一
一月限	一四、三〇	一四、二〇
二月限	一四、三〇	一四、三〇
三月限	一四、三〇	一四、四〇
四月限	一	一

木曜 丙辰 友引 執 室宿　舊十月廿三日　十一月廿五日

●一白の人　勢に任せて調子外れとなり意外の失敗あり　丁と庚と辛が吉
●二黑の人　大利を思はず着實に小成に安んずれば吉し　乙と丁と壬が吉
●三碧の人　運氣閉塞して何事も成就し難し普請移轉凶　乙と丙と癸が吉
●四綠の人　氣を伸びやかに構へて定業に親しむべき日　甲と乙と丁が吉
●五黃の人　權威大なりとも誇らず謙讓して交りを結べ　乙と丙と庚が吉
●六白の人　活躍勇進すべき日志望を遂げ榮達意の如し　申と庚と寅が吉
●七赤の人　忠直なる行爲は衆望を得企畫亦大に達成す　乙と申と丑が吉
●八白の人　進むを知りて退くを忘るれば萬事窮すべし　乙と丁と申が吉
●九紫の人　調子に乘り過ぐれば既得の財をも失ふべし　丁と申と丑が吉

青春の宿 (上演上映)
須藤鐘一作　柴谷宰二郎畫

(五〇)

再び惡へ(四)

『……實は、僕の友人の志村さいふのに、あなたのことを話したら……あなたを戀してゐることを話したら……ごめんなさい。僕はあなたを、あなたに一目、おあひしたさきから、もう、どうにもならぬ迄の戀愛を覺えたんです』

『……』

『志村に話したら、戀愛したならしたで男らしくうちあけたらよいだらうといふのです。しかし、まだ、知りあつてまもないんだから早すぎる……つていふと……志村は、戀愛に早いも、くそもあるかつて……戀愛は、まづ、行動だなんて、わけのわからないことをいつて、いま、アメリカではやつてゐる方法があるから俺にまかしてをけ――といふんです――僕は、變な親切はよしておくれと答へてをいたんですが、けふの夕方、僕のところへやつてこい今夜、幸子さんをつれてくるから君はホールへゆかずに、おさなしく、うちでまつてゐろつて……いふんで、まさか、こんなことをするとは思ひませんからあなたが承知の上で、こられるものと思つてまつてゐるとさうです十時頃、志村がやつてきて、さあつれてきたさいふんです。みるとあなたは氣を失つてゐるぢやありませんか。

……そのとき、僕はどんなに驚いたかしりません――』

さ、讓治は、つゞけた。

『……志村を、ひどくせめたんですが、志村は、これが、アメリカではやつてゐる方法なんだ。戀愛のね……戀愛はまづ行動から始めなくちやならない。なんてひとりで承知したやうなことをいつて、あなたを、この僕の部屋へだいてつれこんで……もし、假まれるやうなことがあつたら、うきくさ、うきたつてきたその不行儀なこと、自制心のたりないことをせめる氣持もあつたが、それは、ほんのごくわづかで――それも、わたしを、ほんたうに愛してゐて下さるからだ。そして――この男の强い自制心を(幸子は、讓治を、いかなる場合にも自制心のない男だとは思はない)破らせるまでに自分には魅力があるからだ。さいふことを意識する喜びが、數倍も大きかつた。

『許してあげるわ』

彼女は、ふいに――自分は今まで、そんな自分が、自分の中にあることに氣づかなかつたが――ふいに、さうよぶと兩手をひろげて、讓治の首にすがりついた。

笑つてゐるのか、ないてゐるのか、わからないやうな聲で――

『そのかはり……そのかはり……いつまでも、あなたは、わたしのものよ。わたしひとりのものよ――』

責任は、全部僕がおふよ、あすの朝まで、ごゆつくり――さいひおいて、歸つちまつたんです』

『……』

『あなたは、死んだやうに眠つてゐらつしやる……藥をかゞしたんださうですから、一定の時刻がくるまでは、おきられない……歸つて頂くわけにはいかないしさうかさいつて、氣を失つてゐらつしやるものを、送り歸すわけにもゆかないし、途方にくれてゐるうちに……許して下さい。僕は……自分のあなたに對する愛着にまけてしまつたのです

『……』

いつか、自分の眼の前に、うなだれて、心から許しをこうてゐる男をみてゐるうちに幸子の心は不思議な感情に、

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

上海戰最初の山岳戰
金蓋山々頂に日章旗
湖州（呉興）に市街戰・完全占領

【嘉興廿四日發國通】長野、山田兩部隊は呉興南方の金蓋山に據り山砲及び重機銃をもつて南京、杭州街道を死守せんとする敵に對し上海最初の山岳戰を演じつゝこれを攻略、廿四日早朝山頂高く日章旗を飜した

【嘉興廿四日發國通】長野、山田兩部隊の一部は廿四日午前十一時呉興城内に殺到した、約三千の敵大部隊は城内家屋に踏み止まり頑強な抵抗を續け激烈なる市街戰が展開されてゐる

【嘉興廿四日發國通】湖州（呉興）城内に突入した岡本、長野、山田諸部隊は壯烈なる市街戰を行ひ殘敵を掃蕩の後、廿四日午後一時完全に呉興を占領したが、城壁には日章旗が燦として飜つてゐる

陸海荒鷲 常州、江陰に痛彈
地上部隊追撃戰に協力

【上海廿四日發國通】陸の隼河村、神崎、野中の各部隊は、廿四日早朝より地上部隊の追撃戰に相呼應し、常州、江陰附近より敗走の敵に猛爆を加へ、また河村部隊大沼、西岡、錦織各大尉指揮の○○機は、廿四日午前十時頃呉興西方に現れ、呉興より敗走の敵を襲ひこれに多大の損害を與へた

【上海廿四日發國通】海軍航空隊三木、千田兩部隊主力は絶好の飛行日和に惠まれ廿四日全力を擧げて地上部隊の追撃戰に協力、常州、江陰の敵主力陣地を猛爆し、また一部○○機は宜興、丹陽、廣德附近の敵後方有力陣地を破壞しさらに常州、江陰附近より敗走の敵を追撃猛爆を敢行多大の打撃を與へた

南京防備に兵雲集
暴虐横行に市民の怨嗟

【上海廿四日發國通】南京攻防戰目睫に迫つて南京市内外の防備陣の强化はいよ／＼猛烈となり、特に城壁外東南方には堅固なトーチカ塹壕などを無數に構築し、市内には到る所土嚢、塹壕陣が急設され兵士の移駐、武器、彈藥の運搬が極めて頻繁に行はれてゐる 從つて軍事最高幹部が南京市街戰は無益なりと主張するにも拘らず、最早相當激烈な市街戰は避くべからざるものと思はれるに至つた、しかして殘留民約十萬に對し略々それと同數の兵士が新しく到着して民家といふ民家に泊り込んで物資を强制徴發してをり、また約一萬の負傷兵のうち輕傷者、全治者數千名が市内を横行して市民に暴虐の限りを盡してゐるため、兵を惧れる聲は街に充ち蔣介石が如何に努力するとも秩序恢復は困難な狀態に陷つてゐる

破竹の上海戰線
工兵隊の架橋と相俟つて前進する○○步兵部隊

天津に大忠靈塔

【天津廿四日發國通】北支の野に護國の鬼となつた皇軍將兵の靈を慰め不滅の功績を永遠に傳へるため天津に北支最初の大忠靈塔を建立の計畫が進められてゐる、支那軍の暴虐と皇軍の威武を目の邊に見た天津在留邦人一萬人の間から先づ陣歿將士の遺德顯彰と忠魂慰靈の爲一大忠靈塔を建立の議が起つたもので、曩に物故した前支那駐屯軍司令官田代皖一郎中將未亡人から故中將供養のため天津居留民團に寄附した金一封を最初の基金に北支在留民はもとより廣く内地へも呼びかけて國民的感謝と感激を永久に傳へやうと言ふので、近く天津居留民會にかけて正式に決定の上基金募集にかゝるが忠靈塔を中心に在留民の散策場を設けて天津の一靈地たらしめ樣としてゐる

無錫敗走の敵を西方に壓迫

【蘇州廿四日發國通】惡天候と湖沼地帶の難行軍をもつて西進中の源田部隊は廿三日夕刻無錫市外を通過し敗走の敵を西方に向け壓迫中である、なほ潰亂に陷つた敵は立直る餘裕もなく皇軍の急追に疲勞困憊その極に對し前日來の降雨と寒氣に逃亡者續出してゐる

英國が支那へ毒瓦斯を賣込み

【香港廿四日發國通】香港を經由して支那内地に輸送せられる武器は現在迄に判明せるものだけでも英國ヴイツカース製戰車（機關銃二門裝備）六臺、大型砲彈二百噸、小型砲彈百噸、手榴彈廿餘噸、其他鐵條網、鐵道材料多數等夥しい數量に上つてゐるが、殊に兩三日前廣九鐵道によつて窒息性ホスゲン瓦斯十二噸が積出されたことが判明した、曩に上海戰線で使用されたダムダム彈が英國製なるにも拘らず遂にわが國が使用した如く宣傳し、人道上の問題として世界に逆宣傳したが、本毒瓦斯の賣込みに至つては全く言語道斷の背信行爲として注目されてゐる

廣東空襲

【香港廿四日發國通】わが海軍機は廿四日午前十時四十五分久し振りに廣東市上空に勇姿を現はしたが、地上からの機關銃射撃を受けたのでこれに爆彈を投下して反撃を加へて引揚げた

南京大空襲を敢行
ソ聯機三機撃墜

【上海廿四日發國通】廿四日午後三時四十分海軍航空隊中野少佐指揮の○○機は、長驅して遷都實行以來最初の南京空爆を敢行、敵軍事施設に甚大なる損害を與へた

【上海廿四日發國通】廿四日午後三時四十分海軍航空隊中野少佐指揮、高橋、三原兩大尉麾下の○○機は、折柄の寒風を衝いて南京を空襲、大校場飛行場その他に巨彈をあびせ待機中の敵機八機に致命的打撃を與へた

【上海廿四日發國通】中野少佐麾下池田（魁）中尉、古賀航空兵曹長指揮の○○機は三機編隊にて飛翔中のソ聯製飛行機六機を發見、荒鷲の如くこれを猛襲、こゝに壯烈なる南京上空の空中戰を展開、池田（魁）中尉機まづ敵の指揮官機を目がけて追撃するや編隊を離れた敵一機は小癪にも同中尉機を追撃し來つたのでこれを見た杉山兵曹長機は敵機を追ひつき一撃のもとに射ち落し、また古賀兵曹長機の指揮する○○機は○○メートルの高空から敵に喰ひさがり地上二、三十メートルまで敵を追ひつめて敵機二機を完全に撃墜した、殘り三機は辛くもわが軍の猛射より逃れ這々の態でいづれかに遁走、わが方は全機悠々無事歸還した

【上海廿四日發國通】廿四日の南京空襲により大校場飛行場にあつた敵機は、すべてがソ聯製飛行機なることが認められた

蔣に渡る わが降伏勸告文

【上海廿四日發國通】外國通信社の南京報道によれば、一昨廿二日南郷大尉指揮の我海軍航空隊が南京上空から投下せる蔣介石宛て降伏勸告の信書をおさめた木箱は支那兵によつて拾はれ廿三日やうやく側近の手を經て蔣介石の手許に屆けられたが、南京のスポークスマンは必要がないから返事を出さんと述べてゐる

毒ガス製造の鞏縣兵工廠を爆撃

【天津廿四日發國通】わが島谷部隊の精鋭機は二十四日午後一時三十分○○根據地を出動、銀翼を連ねて湖南省境を突破、さらに大黄河上空を通過して長驅隴海線の鞏縣兵工廠を空襲し、敵は高射砲四門をもつて應戰したが、敢然これに巨彈の雨を降らせて同兵工廠を粉碎、全機悠々歸還した、鞏縣兵工廠は支那事變勃發以來敵が盛んに毒ガス彈を製造してゐた曰くつきの兵工廠で、わが島谷部隊の爆撃によりその根源が完全に破壞されたわけである、なほこの日時を同じうして午後一時頃わが芝田航空部隊は中間地區の冠縣、東昌縣及び觀臺鎭南方附近に移動しつゝあつた敵敗殘部隊を爆撃多大の損害を與へた

山東東南部の軍用道路列車を爆撃

【○○廿四日發國通】緊迫を告げる山東の寒空にわが荒鷲部隊の活躍目覺ましく中平部隊の○○機は廿三日午前十時初多の烈風を衝いて勇躍○○根據地を出發、その一部は齊東、鄒平及び膠濟線上龍山（濟南東方七里）を結ぶ軍用道路上の要衝を爆撃破壞、黄河南岸に退却方面に集結しつゝある韓復榘軍に對して大打撃を與へた、一方○○機は兖州、濟寧を偵察の歸途大汶口北方半キロの地點において二十四輛の軍用列車一ケ列車を發見爆撃を加へ破壞顚覆せしめ山東東南部の敵に大打撃を與へ歸還した

松澤總督府外務部長來京

朝鮮總督府外務部長松澤龍雄氏は全滿領事會議に出席のため廿四日午後三時着列車にて來京した

英ソ戰鬪機を供給
ソ聯教官の指導下に
西安に大空軍根據地

【東京國通】廿四日信ずべき筋に達せる情報によれば、ソ聯より支那に供給された飛行機百六十臺は最近西安に到着してゐるが、目下操縱士の訓練に忙殺されてゐるが、廿日間餘の練習で直ちに戰線に出動させる由でさらに英國より供給された戰鬪機六十臺も去る廿一日香港に到着、直ちに北送したと

【上海廿四日發國通】南京および周家口における空中戰においてソ聯製飛行機が戰鬪に參加したこと確實となつた折柄、さらに西安より南京に廿三日歸來せる一外人の報告によりソ聯が本格的に支那を援助しつゝある事實が明かとなり世界の注目を惹いてゐる、すなはち西安には支那人操縱士急養成の大飛行學校を急造し約二百名の學生に對し多數のソ聯人教官が專ら教育に當つてをり、又ソ聯より新疆を經て空輸された戰鬪機、爆撃機、偵察機など各種飛行機がすでに百機以上は確實に算せられ、今や西安は支那第一の空軍根據地となつてゐる

總局異動 兩三日中に發令

【奉天國通】滿鐵地方部の移轉、奉天鐵道局の新設、鐵道警務局の廢止など新事態に伴ふ鐵道總局の人事大異動は目下總局ならびに滿鐵總裁室人事課において鋭意銓衡を進めてをり十二月一日附をもつて兩三日中に正式發令をみる筈であるが、今次異動にあたつては經營の合理化ならびに現地機關の陣容整備、人事不足に處する人的一元化をモットーに相當廣汎なる人事の入替へが行はれる筈で、右異動により鐵道總局の陣容は全面的に整備充實されるものと期待される、内定せる局長級の異動左の如し

齊々哈爾鐵路局長 古川達四郎
奉天鐵道局長へ 鐵道總局改良課長 鈴木長明
奉天鐵道局副局長へ 北寧鐵路局顧問
齊々哈爾鐵路局長へ 錦縣鐵路局副局長 山領貞二
哈爾濱鐵路局副局長へ 鐵道總局產業課長 宇佐美喬爾
錦縣鐵路局副局長へ 奉天鐵道事務所長 江崎重吉
吉林鐵路局副局長へ 大連鐵道事務所營業課長 大橋正己
大連埠頭事務所長へ 關弘

なほ哈爾濱鐵路局副局長郡新一郎、大連鐵道事務所長下津春五郎の兩氏は北支事務局勤務となり、吉林鐵路局副局長秋田豐作氏は某重要任務に就く筈である

訪日國民使節けふ歸京

さきに治外法權撤廢條約調印に對する感謝のために國民使節として協和會より派遣され日本各地を歷訪した國民代表穴澤喜壯次氏等の一行は二十五日午後六時二十分着あじあで歸京の豫定である

偶語

せつぱ詰つた蔣介石は往年の北伐軍顧問ガロンに對し全極東軍を提げて日本の背後を衝けとモスクワ拔の秘密提案をした▼一九二七年の上海クーデターには最後まで貴官と志を同し互に別れを惜んだ▼今や日本軍は南京に殺到せんとし黄埔軍官學校以來の貴官の敎へ子は悪戰苦鬪をつゞけてゐる▼このとき貴官にして配下の極東軍四十萬を提げて日本の背後を衝けば余と貴官とは日ならずして北支又は蒙古で會することが出來るであらう▼萬一獨斷專行がクレムリンの忌諱に觸れることあらんか余は元帥の禮を以つて貴官を迎へ中央軍終身最高顧問に聘するであらう、といふのがその要旨である▼連戰連敗の結果萬策つきた蔣は終身最高顧問の好餌をもつてブリユツヘルに泣きついたのであるが彼もさるもの果して餌に飛びつくかどうか▼はかない空頼みに苦慮してゐるうちに南京はわが軍の手中に歸するであらう

社説　九ケ國會議の失敗

一

ブリユッセルに開かれた九ケ國條約關係國會議は僅かに決議案なるものを唯一の收穫として別に何ら成をあげることなく無期休會に入る事態當然と報ぜられてゐる。すでに主要な代表がその以前から會議より引き上げ、甚だ冷淡な態度を示したのである。米國等に於いてはこの會議からの脫退の主張さへ起つてゐるくらゐである。會議に期待をかけたであらう支那の失望も察せられる次第である。

二

九ケ國條約會議の失敗は何によるか。われらの考へるところでは、すでに會議の成立に至るまでに大きな錯誤が犯されてゐたと言はねばならぬのである。第一にそれは成立手續に於いて誤つてゐた。それは先づ支那が日支紛爭を國際聯盟に提訴し、聯盟がこれを諮問委員會に移牒し、この委員會が九ケ國條約會議を開くべきことを聯盟に勸告し、その意をうけ且つ英、米の同意を得て白耳義が招集したといふのが成立手續となつてゐる表面上は白耳義主催になつてゐるが實質的には支那の提訴によつて動いた聯盟の招集にかゝるものであつた。ところで九ケ國條約にはその適用問題に關して關係締約國間に交涉をなすことを定めてゐるがこれは聯盟とは何ら關係の無い事なのである。聯盟の指導乃至は示唆によつてこの會議が開かれたのはまさに錯誤であつた。次に九ケ國條約加盟國でないソ聯を招請したことである。一應加盟國のみの會議を開きその上で招請するならば兎も角、はじめからソ聯を招いたのは不可である。更に、聯盟加盟國や米國は日本を九ケ國條約違反であると斷定し被告の立場で日本を會議に招かうとした。最初から條約違反であると定めてかゝつて、充分にして隔意なき協議など行はれやう筈がない。しかも日本の不參加のまゝに會議を開いた。和協解決などが直ちにもたらされる筈は無いのである。

三

更に會議失敗の理由として英、米がリーダーシップを讓り合つたことを擧ぐべきであらう。若し本當にこの會議を成功せしめやうとするならば英、米何れかゞ會議の主催國となるべきであつた。然るに英、米はともに責任者となることを欲せず、遂に白耳義に主催國を押しつけてしまつた。これは明かに、一つには失敗の責任を負ふことを回避せんとするものであり、一つには紛爭解決後、日本が東洋に確固たるヘゲモニーを確立した場合、日本から會議主催國として睨まれることを警戒したものであらう。兎もあれ儼然として確立してゐる日本の大方針の前には、かゝる會議もなんら爲す所無いことをわれらは知り得たのである。

技術を遙かに凌ぐ日本人の精神力

獨紙、論文をかゝげ絕讚す

【ベルリン二十三日發國通】ドイツ勞働戰線機關紙アルゲマイネ・ツアイトウングは廿二日の紙上にソヴイエトの極東進出に關する大論文を掲げその無慾な野心をこき下ろしてゐるが、その中に日本國民の精神力に言及「技術を遙に凌ぐ精神力」と述べ肉彈三勇士を擧げて絕讚してゐる、大要は次の通り

ソヴイエトは自國空軍の擴張を高く評價してゐるが、しかしこれに對して日本は海上において絕對的の覇權を握つてゐる、日本の技術的諸缺陷は日本獨特の超犧牲的精神によつて補はれて餘りがある、こゝに想到すると日本の行爲は第三者から見ても極めて心强く思はれる、戰車や爆擊機が馳驅する時代にてすらも精神的力が最後に一切を決定するのだ、一九三二年の上海事變當時日本の兵卒が敵の鐵條網を肉彈を以て破碎したことは技術的に不可能な事業を立派にやり了はせたもので、日本兵にして始めて出來る事の好例である

野蠻支那軍の潰滅は始めから豫期

ユー・ピー特派記者來京談

【東京國通】米國ユー・ピー特派記者ジョン・カールトン・ダイヤース氏は廿二日北支から入京、帝國ホテルに投宿した、同氏は支那事變勃發以來四ケ月あまり硝煙の北支戰線に從軍記者として活躍してゐた人である、なほ同氏は左の如く語つた

私達としては勿論初めから今日の結果を豫期してゐたが、しかもこんなに早く實現しやうとは考へてゐなかつた、日支兩軍を比較して見れば決して意外でもなんでもないことなのだが、最近青島英人記者が支那軍の人質に捕へられた事件があつたが、一事が萬事こうした所に支那軍の野蠻性といふか日本軍とは根本的に違つた弱點がある譯だ

陸海軍の勇士が　戰鬪狀況放送

【東京國通】北支、上海の各戰線で名譽の戰傷を負ひ各地陸海軍病院において加療中である陸海軍白衣の勇士の戰場體驗談を東京中央放送局では全國に中繼放送をすることに決定、卅日午後四時半第一放送で海軍から二名、陸軍から二名の勇士を選定卅分づゝ各勇士が負傷當時の壯烈な戰鬪狀況を放送聽取者の眼前に皇軍奮戰の狀況を彷彿させることになつた、海軍側では目下人選中であるが、陸軍側では牛込の第一陸軍病院の病室にマイクを備へつけベツトの上から放送を行ふことになり北支戰線を代表して片倉製紙職員武居元市上等兵が保定攻略戰における今井部隊の苦鬪談を語り、上海戰線の勇士を代表してはP・C・L錄音技師村山健二上等兵が壯絕無比不朽の戰史を綴つた加納部隊の吳淞クリークの渡涉戰を想出も新たに電波に乘せて送る模樣である

十月中の　全支輸出入

【上海廿四日發國通】支那の對外貿易は事變の永續による國內諸產業の破壞と購買力の減退に加ふるにわが海軍による沿岸航行遮斷の效果徹底により益々衰退の一途を辿り、十月中の全支輸出入總額は前月に比し更に一千六百萬元の減少を示してゐる、しかして輸入は前月より微增、輸出は二割七分方激減し、差引き一千三百萬元の輸出超過といふ奇現象を呈してゐる、海關發表の全支貿易額は左の通りである（單位千元）

輸入	三六、三三三
本年累計	八五六、〇九五
輸出	四八、七三三
同累計	七三二、九八八

なほ金銀の輸出超過額は金二千七百萬弗（海關金單位）銀三億三千三百萬弗である

上海一路明朗化

抗日分子續々脫走

【上海廿四日發國通】租界工部局當局の排日抗日取締に伴ふ租界の風景にも大きな變化が來た、福州路一帶の書店に所狹きまでに飾られた抗日排日書報は最早何處かへ隱され支那兵のブロマイドも季節外れの感が深い、門每に貼られた抗日排日傳單も工部局巡警によつて一枚一枚はがされつゝあり、街辻にひさぐ新聞紙の種類もぐつと減つて賣子は寒さにふるへてゐる、租界內に據つて抗日排日運動に浮身をやつしてゐた連中の一部は早くも上海を脫走、海路を臺州又は南通に赴きつゝあるものゝ如く上海各市は何時になく大々的に船便を報ずる記事を掲げてゐるが、上海—南京間の通路揚子江北岸南通の如きは上海よりの旅客避難客で充滿し、食料品等は平時の五倍以上に騰貴してゐるといはれてゐる

上海方面占領地區の部落民續々歸鄉

皇軍の恩威ならび行はる

【上海廿三日發國通】皇軍占領地帶の住民は戰鬪期間中何處へか避難してゐたが、最近陸續として歸鄉中で、崑山、蘇州間の鐵道線路および自動車路にはこれ等歸鄉の避難民が日章旗を先頭に立てゝ腕に日の丸の腕章を附し數人若は數十人が一團となり家財道具を中に老若男女の別なくわが家を指して嬉々として歸りつゝある、かくて戰火に見舞はれた皇軍占領地帶も日本軍の恩威ならび行はれ、秩序維持と良民の歸鄉により漸次平常に復しつゝある

汪精衛漢口着

【上海廿四日發國通】汪精衛は曾仲鳴帶同砲艦中山號にて廿三日正午南京より漢口に到着した、これと前後して廿三日漢口に引揚げを終つた國府要人左の通り

監察院長　于右任
立法院長　孫科
行政院秘書長　魏道明

租界內の各政府機關も奧地に引揚げ

【上海廿四日發國通】上海における政府各機關、すなはち市政府、淞滬警備司令部、戒嚴司令部、市黨部等は南市の陷落以來租界內に臨時辦事處を急設して餘喘を保ちつゝあつたが、皇軍の上海包圍によりその存在價値を失ひ逐次閉鎖するに至り、之等各機關は三々五々南京或は漢口に引揚げを開始した、一說によれば右機關尖銳分子の一部は上海に殘留して地下にもぐり特務機關として今後の暗躍に備へつゝありと

抗日五紙に發刊停止

上海言論界の大變革

【上海廿四日發國通】わが上海包圍體勢の完成により上海言論界にも一大變革の時が來た、すなはち工部局當局は二十三日わが抗日排日取締り要望の申出に基いて非公式に中央通信上海支社及び立報、時事新報、民報、中華日報、神洲日報の五紙當局者に對し即時停刊する樣勸告せるため、中央通信社は廿三日夜悲壯な停刊の辭を殘して二十四日以後上海における通信發行をやめ、さらに立報、時事新報も二十四日を最後に停刊に至り民報及び神洲日報の各紙もそれぞれ一兩日中に發行を停止することになつた、すでに人民戰線派の機關紙たる救亡日報及び辛報は發行をやめ今回さらに五紙が停刊されるに至つたゝめ、殘る上海の主要紙は大公報、申報、新聞報及び時報の四紙となつた、なほ停刊した五紙の發行部數は立報二十萬、民報五萬、時事新報五萬、中華日報三萬、神洲日報五萬、合計三十八萬に上り編輯、營業、印刷、發送等に從事する社員は數千に達してゐる

滿洲電氣協會　滿洲國法人に組織替へ

滿洲（關東州を含む）における電氣事業の進步發達をはかる目的をもつて設立された社團法人滿洲電氣協會では十二月一日を期して行はれる治外法權の撤廢に伴ひ從來の日本國法人たる同協會を十一月末日限り一應解散し新たに滿洲國法人たる同名の協會を設立することゝなり、今二十五日午後一時より新京ヤマトホテルにおいて新協會設立發起人總會を開き

一、役員選擧
一、定款の作成

を行ふことゝなつた、しかして同協會では新協會設立のため去る十一月一日大連遞信局內にあつた本部を新京康德會館內に移轉した

防共世界の聯繫的陣營（一）

コミンテルンへの衝擊

時代のタンクは凡ゆる障碍物を完膚なきまでに蹂躪して征く、豫想された日獨伊の防共協定は、一九三七年十一月六日國民的自覺の牢固たるコンクリートの上にいよいよ築き上げられた、イタリーが一九三六年十一月二十五日締結された日獨防共協定の一大鐵傘下に馳せ參じたことは焦躁的な現狀維持派就中戰慄すべき世界革命斷行を目標とする赤色政策遂行の大御所であるコミンテルンを培養するソ聯に對して空前の衝擊を與へた

□

イタリーは世界における持たざる國の一國である、地圖を一瞥すれば判然とする如くイタリーはエチオピア問題、スペインの內亂、さては怪潛水艇の出沒等の事件によつて幾度か暗雲低迷した地中海の眞中に長靴の樣な格好で無造作に突き出てゐる天惠に乏しい國である、然し曾つては絢爛たる文化の花を世界に咲かせた國柄である、現代のイタリーは一世の英傑黑シャツ宰相ムソリーニの獨裁下に逐着する凡ゆる苦難を克服して堅實な步武を重ね國運は隆々として伸張の一途を辿つてゐるイタリーは歐洲第一の火山國である、三方は海洋によつて包圍され、半島と大小の島嶼からなり、本土の總面積は三十一萬平方餘キロ、人口四千二百五十萬である、日本の本州に北海道を加へた程度の面積であるが、エチオピア、伊領ソマリーランド、リビヤ及びエリトレヤ等の屬領を加へると三百六十七萬平方キロとなるから日本總面積の約五倍半に近い面積となる

□

アルプスの自然の大城壁は北風を阻みイタリーは歐洲の花園といはれてゐる、そのイタリー國民は黑い瞳を持つ南歐の熱血兒である、イタリー國民の中には理論よりも感激によつて支配される所謂情熱家が多く、イタリー人はよく發明するがそれを完成させるのはドイツ人であるといはれて來た程の天才的國民である、鈍重な遠謀深慮形のドイツ人とは正反對な特色の持ち主である、熱狂し易いイタリー人は藝術家であつても哲學者でない、しかし極めて實務的であり同時に現實的である、西洋で逸早く銀行業が發達したのはイタリーである、西洋諸國の財政が二、三百年前まで主としてイタリー銀行家の掌中にあつたといはれるのは蓋しその間の眞相を物語るものであらう、天產に乏しいイタリーは農業國であるが北部から產出する小麥は國內の需要を充すに足らずして輸入に仰いでゐる

□

その反面に南部の葡萄は世界第二位を、橄欖の栽培では世界第一位の王座を占めてゐるのは有名な話である、養蠶業の殷盛な點でも日本についで世界第二位にあるが、原料不足のために繭糸の產高日本の五分の一に達しない、鐵もなく殊に石炭皆無のイタリーは決して工業の隆盛な國でない一見工業國のやうに見えるのはアルプス及びアペニンの懸崖から流落する水流を巧みに利用してゐるからである、持たざる國、惠まれない國のイタリーから今日迄に國外に流出した移民は凡そ一千萬人に達してゐる、イタリー政府の抑制と苦慮の程もこゝにあるわけである、ファッショのイタリーは過去十五ケ年間に三十萬の黨員を擁するムソリーニ首相を中心として能動的に內外に動いて來た、ム首相の獨裁政治は字義通りイタリー全國を統一し、不斷に擧國一致の體勢を繼續して地中海における英國の勢力を叩き潰し現今ではわれ等の海洋と呼んでゐる、ム首相を光明と確信してゐる、イタリーの國民大衆は國をあげて往年のローマ帝國の殷盛さを取り戾す熱血に燃えてゐる我乃木將軍とナポレオンを崇拜する鐵腕ム首相は常に「イタリーの偉大なる國家化」を念頭とし滿面的に國民大衆の期待に副はんとして懸命の努力を續けてゐる

□

二千年前ポンペイ、エルコラノ、スタヴホヤ等の三市を瞬時に埋めたヴホスヴイアの噴煙は「どうせ死ぬならナポリを見てから」とまで謳はれたタスカノ海に、山紫水明の優雅を誇るナポリの彼方に今もなほ濛々として立ち昇り往時を物語つてゐる、この外カンパニヤ及びシシリー地方或は其他の地方に活火山又は休火山等は舊態依然として連つてゐる、近年經濟國策の振起に銳意邁進してゐるイタリーは古今を問はず矢張り火山國であり同時に藝術の國であるフロレンスやピサ等の斜塔の藝術の都或はヴエニスのゴンドラと船唄曾ては歐洲文化の先驅者としての役割を演じたイタリーの所謂古代文化史は姑く別としても毅然として西洋美術界の指導的立場に立つた

□

十五、六世紀の文藝復興時代にはラファエル、ダヴヰンチ、ミケランジエロ等を產み、更に文豪ダンテさては熱血詩人ダンヌチオ等を出して精神文明の豪華版に不朽の名を殘した、曰く何、曰く何の史實の名士や時の古今を問はず三季を通して全國的に爛漫として咲き誇る古代文化の花であるエトルイス時代の遺物古代ローマの諸々の遺跡等々ローマの往昔を偲んで現代ファッショを語れば跳躍イタリーの姿と輪廓は瞭然として露出されて來るのである、熱狂的イタリーと國民大衆は東亞の盟主日本及び日本人に對する信頼と友好的態度の顯現を忘却しない

商況欄（廿四日後場）

株式相場

●大連株式（短期）　寄　引

銘柄	寄	引
五品新	一九、六〇	―
豆新	一五、七〇	―
京新	七七、四〇	―
日遼	五三、三〇	―
[illegible]鐵	五三、四〇	―
[illegible]新	三八、一〇	―
土木	一三、六〇	―
日新	六〇、〇〇	―

●奉天株式（短期）　寄付　大引

銘柄	寄付	大引
滿取	―	―
東新	一五五、六〇	―
大新	八六、〇〇	―
日遼新	七五、九〇	―
同新	五九、八〇	―
五品新	―	―
豆新	一六、一〇	―
滿鐵新	五三、八〇	―
鐘新	三八、四〇	―
同新	―	―
電甲	―	―
滿毛	―	―
日會	六六、四〇	―
電業	―	―
化學	―	―

新京取引市況（廿四日後場）

現物	寄	引	出來高
大豆	五、五〇	五、五四	九車
高粱	―	―	―
小豆	三、三五	―	一車
玉蜀黍	―	―	―
包米	五、〇〇	―	二車
吉豆	―	―	―
現物	―	―	―

●大豆	寄	引	出來高
十一月限	五、四七	五、五〇	四八、五〇
十二月限	五、五四	五、五四	五八車

●高粱	寄	出來高
十一月限	三、五八	一車
十二月限	三、六六	一車

手形交換高（廿四日）

八〇九枚　一六四、六四〇、〇一

日滿軍慰問の北支旅行を終りて

國防婦女會哈爾濱支部　理事　王梅先

國防婦女會哈爾濱支部理事王梅先女史は協和會の第二回北支日滿軍慰問團に哈爾濱代表として參加し約三週間にわたつて北支各地を歷訪、日滿軍慰問の重大使命を無事果して去る十日無事哈爾濱に歸着したが、來る廿日哈爾濱放送局よりラヂオを通じ略々左の如き意味の慰問旅行中感想を述べることになつた

今回代表として天津、北京張家口、大同、保定各地駐屯の日滿軍を慰問いたしたり、又各地婦女團體と會談しまして得ました感想は次の通りであります

第一　日本軍の忠君愛國の精神に感動しましたこと　私達が軍病院に傷病兵士を慰問いたしました際各傷病兵士は皆同時に手を擧げて歡喜の聲を發して日本帝國の萬歲を叫び滿足の色を示して少しも傷病者としての悲しみの色がなかつたことであります

第二　北京、天津、張家口、大同、保定一帶は皆支那兵が逃亡します時掠奪暴行を受け塗炭の苦しみを受けましたが日本軍が到着すればすぐ宣撫班を派遣して受災者達を救濟收容して元通りにしますから現在はもう各地は平常の樣に安居樂業いたして居ります狀態です、私は日本軍兵士が民家の食用品を買つて相當代價を支拂つてゐる平和の樣子を目擊しました、それで人民は日本軍に對して親愛感激の態度を表はしてゐます、これは私が一番感心してうれしかつたことであります

第三　北京、天津の女子教育界や各名流の婦女と聯驩大會を擧行しました時種々の話の間にて盛んに我滿洲國の目下の有樣をたづねられるので王道樂土の狀況の委しく說明しますと大變感心し又羨ましさうな樣子で今後日滿華三國の精神上の提携をして共產黨を驅逐し安居樂業を享け樣ではないかとの話でありました、是は彼の人達が日本軍を信頼して我滿洲國を羨んでゐることが解ります、是から考へますと華北察南の各民衆全體に日滿親善氣分が橫溢して居る事を知り日滿華が提携して一日も早く華北の明朗化が實施されることを渴望して、日本軍の威力に絕對的信頼を以て同心同德東亞の平和を圖り度いと思つてゐることを知り得たと感じます

外人宣教師の見た支那の赤化(上)

オスカール・コナール

ベルギー人オスカール・コナールといふカトリック宣教師は先日新京放送局から「外人宣教師の見た支那の赤化」と題して英語で次のやうな意味のラヂオ放送を行ひ外人間に多大の感銘を與へた

□

▽……私は四十二年間蒙古にある支那人達に布教してゐるカトリック宣教師コナールでありますが彼等の間に勿論友人も多數ありこの永い間の忍耐は私が支那人を愛する證據である、彼等を裏切るやうな行動はしないものと諸君は確信されるものと思ひます、最近五ケ年間は滿洲國熱河省の都承德に住んでをり、各階級の日本人、殊に日本軍人と交つた、昨年は日本研究のため數ケ月親しく日本に行つてゐた故に日支關係の過去および現在にわたり良くその原因を識り、それについてお話することが出來ると思ふ

▽……距離も隔り氣持も異る民族間のことではあるし日本の文化程度について誤つた認識をすることも亦已むを得ないことである、その上日本については數十年この方日清、日露兩戰爭に勝つたことによつて知りはじめ、義和團事件の時の赫々たる活動や、最近においては全世界の商工業者を混亂に陷れたその貿易進展によつて知られて來たゞけである

現在においては日本を訪れる者は誰でもその工業および醫療機械の完全さ、殊に最近におけるその交通機關の發達は最先進國のそれに匹敵することを知つてゐる且又日本は最文明國中最少數の文盲しか有しないことを誇ることが出來る、教育によつて文化程度を計り知らうとする人々にとつては演繹的に戰時においても平時におけると同樣すくなくとも人類愛および自然崇拜敬の念の有無によつてそれを知り得、それについては文盲の數の多少によつて國民間に差格を生ずるものである

▽……日本軍が蒙古に齎した平和と秩序の實例として熱河占領のことを語らう、熱河占領には些か强制されたのでもあつたが快く私も手傳ひし、狂亂せる熱河の町が平靜に立返へることに努力したのである、その頃諸新聞の通信員達はこの地方で生々しくして感動に價するニュースを探し廻つてゐたが、私の話を聽いて皆羨望した、熱河の街の主要人物等も全く爲すところを知らず、〇〇將軍に面會に行くよう私が說き勸めても彼等は敢てさうしようとせず、私に彼等を伴つて行つてくれと懇願したので、私は彼等を連れて將軍に面會に行つた、不公平な多數の新聞は恐らく信じないであらう、しかしこの重要な熱河の街は大砲も機關銃も鐵砲も一發も射たれずして占領されたことを私は證言する、その前日まで支那人省長の住んでゐた宮殿に吾々は將軍を案內して行つたが、將軍は其處で明確に且優しく軍の目的希望を說明されたので、街は間もなく日本軍を信頼し平和になつた、日本軍が其處に駐屯したことによつて街は全く平穩であつた、兵隊は勿論規律正しく橫柄でなく愛想が好く、各階級の住民は支那兵の亂暴を思ひ浮べて只呆然たるばかりで日本軍を賞讃しない者はなかつた、これはたゞ一日の出來事ではなく占領中を通じてのことであり、即ち今日に至るまでの歷史である

▽……次に私は南支の都會、村落に共產黨宣傳隊の這入つた樣を想ふ、其處では總て共產制が布かれロシアにおけると同樣良民は虐殺され下等なる慾望は煽動され所謂刷新政策に奮起し、彼の宣傳に乘り共產化する者石油に火を注ぐが如くこれ等無智殘酷なる共產黨員は全く新種族の如く彼等の爲すところ眞夜中の色情的又犯罪的希望に燃えたものゝ如くであつた

康德五年度青訓實施計畫

△……協和會吉林省本部發表

協和會吉林省本部より發表された康德五年度青年訓練所實施計畫は左の通りである

一、要旨

イ、訓練生は數より質に重きを置いて詮衡す

ロ、從つて訓練期間を延長し訓練の徹底を期す

ハ、前年度訓練終了生を召集し短期再訓練を實施

二、計畫

實施する縣、市、旗は十五にして既設のものは長春、永吉、吉林、農安、扶余、伊通九臺、郭爾羅斯前旗、德惠、双陽にして右の內永吉、吉林は合同なりしものを各獨立せしめたり、新設は磐石、樺樹、舒蘭、懷德

三、開始期間

第一期四月一日―六月卅日三ケ月間、第二期七月廿日―十月十九日、同

四、訓練方針

訓練課目は教練のほかに協和、法制、厚生產業および日語の諸課目

半島人の親睦機關 奬學會設置案 省公署では澁る

延吉朝鮮人民會は十一月末日をもつて解消されるが同民會では以後の半島人親睦機關として財團法人延吉朝鮮人奬學會を設置し民會の建物、敷地以外の財產及畜產組合の畜牛を引繼ぎ將來の半島人子弟教育並に一般公共事業に當てることになり領事館側の諒解を得て規約も作成し省當局と折衝を開始したが省當局に於ては趣旨には賛成なるも民會に代る機關の設置は研究の餘地ありとの見解を有してゐるので實現か否かは目下見極めつかない

朝鮮物價調査規則 近く制定公布

【京城支局】全鮮各商工會議所では今回物價調査方法を改正し昨年一月一日より實施することゝなつたが、總督府當局でも物價調査統一の必要を認め目下鋭意立案を急ぎつゝあり、之れが成案を得次第遲くも年內に朝鮮物價調査規則を制定、府令を以て公布昨年一月一日より實施することゝなつた、新制令に依る調査方法の內容は詳細不明なるも大體朝鮮商工會議所が曩に改正せる立案と略々同樣のもので指數は昭和八年中の平均指數を基準としたもので調査品目は卸小賣各別として各八十五品目となし統一を圖らんとするものであるが特に總督府において必要とする特殊品種は之れを加へることゝならう

復縣金融合作社の一萬七千圓盜難 犯人をスピード檢擧

【瓦房店支局】復縣金融合作社は昨今收獲期に入り天手古舞の情態で毎日多額の返還を受けて居るが去る二十日は土曜日の事とて銀行預入の期を逸して手提金庫に入れ社內金庫に格納してあつた、現金一萬七千餘圓が强奪された事件があつた、同夜十一時頃同社の表入口を破つて侵入した混棒と銃器を所持せる三名組の强盜は電話線を切り金庫の前扉を破壞して內部にありし現金入りの手提金庫を持出し逃走したとの報に復縣警務局は時を移さず日本警察と連絡をとり瓦房店各機關を始め松樹蓮花山舊城等保甲團を總動員して外部に網を張り又一面內部的に當直員關係を容疑者として嚴重取調べた結果同社傭李明剛(二五)が廿二日午後五時に至り自白し被害金額は午後七時同社薪小屋より全額發見され瓦房店における落雷的大事件も日滿兩警察の密接なる連絡と電氣的活躍により僅々十六時間にして終末を告げたが當局では連累者ありとの推定でなほ調査續行中である

讀者の領分

警官配置に就て

十日附朝刊に山猿生の「今に見てゐろ」と題する記事否御願ひが載せられてゐたが本問題は誰しもが耳にする悲觀事であらう、本問題と共にもう一つ市民の不安が傳へられてゐる自分は滿洲國某官廳の一官吏で特別市に居住してゐるが今回の治法撤廢に關し現新京署は當然首都警察廳に隷屬さる可きものと思考するが其人員配置につきては附屬地商工業者を初め一般市民の希望を汲み急激なる變化を來さゞる主旨より其の儘現署へ居殘りては何等の變化なく此の上なき事だらう、然らば附屬地邦人に對してのみ考慮し特別市居住の邦人に對しては何等顧る處なきかと尋ね度い、現在特別市にも附屬地相當の日本人が居住してゐる筈だ、仰も滿洲國日系官吏たるや市民周知の如く關東局並に內地等より現職警官の出向者を除く以外は幹部と云へど純然たる警察官と謂ふを得ず、殊に行政警察方面に到りては全くの素人同樣なり、斯る盲目者を指導者として派出所勤務を初め一般民衆に接せしめんとする上司の無謀も甚だしい、其の經驗なきものに機械を使用せしめんか直ちにして故障を生ぜしむると同樣民衆警察の經驗なき者をして直接當らしめんか其處に無理を生じ種々面白からぬ問題を惹起し延いては山猿氏の「今に見てゐろ」が一段と露骨化して見ゆるのは明かだ、此際兩者共總ての行掛り私利を捨て大局的見地より法權撤廢の意義を解され兩者互に入れ交り善く指導し指導され金筋の多少に拘泥せず警察事務を研究し眞の民衆警察として市民の保護に努力されん事を切望して止まない(K生)

防空委員會 總督府の初會議、近く招集

【京城支局】防空法朝鮮施行令並に之れに關連せる防空法規の公布施行に伴ふ防空委員會は既に委員其他の任命を終つたが二十七、八日頃第一回防空委員會を總督府第一會議室に招集、委員長大野政務總監司會の下に初會議を開くことになり、主務資源課防空係の手で準備中である

總督府最後の農事指導講習會開催

今次治外法權の全面的撤廢に伴ひ間島省內における朝鮮總督府側建設の集團部落廿八ケ所(二千九百八十三戶一萬七千八百廿名)も滿洲國側に移讓されることゝなつた、しかして右廿八個所の集團部落は今や漸くその基礎を固め各部落民は略々生活の安定を得るに至つたが、部落の振興、農民の向上を計る上には尙幾多の指導を要する點があるので朝鮮總督府ではこれが移讓に當り將來部落指導の上に必要なる各種事項につき部落の中心人物を集めて最後の講習會を催すことゝなり、半島における農村指導の權威者八尋生男氏を講師として派遣、來る廿六、七の兩日間龍井の間島中央學校講堂において集團部落講習會を催すことゝなつた

陸上競技場規定

體育聯盟幹事會に於て決定した公認陸上競技場規定は左の如し

第一條　公認競技場とは大滿洲帝國體育聯盟陸上競技規則に從ひ陸上競技の普及發達に適切なる施設を爲したるものなることを本聯盟に於て認定したるものを指稱す

第二條　公認競技場を分ちて左の二種とす

第一種　左の條件を具備するもの

イ、一周の距離四〇〇米又は五〇〇米

ロ、走路の幅八米一〇以上

ハ、一三〇米以上の直走路尠くも一ケ所存すること

ニ、走路の構成完備せること

ホ、觀覽席收容人員二、〇〇〇名以上を常備すること

第二種　左の條件を具備するもの

イ、一周の距離三〇〇米以上

ロ、走路の幅五米五〇以上

ハ、走路の構成完備せること

第三條　公認競技場として認定を受けんとするものは、起工前豫め設計書並に設計圖を其の所在地域事務局を經て本聯盟に提出し其の認可を受け競技場竣成後更に其の旨申出て實測調査を俟つへし

第四條　前條の申込ありたる競技場は本聯盟より檢定委員若くは技術者を派遣し實測調査を行はしむ

第五條　本聯盟は前條に依る實測調査の報告に基き檢定委員會に於て之を審査の上合格せるものに對し理事會を經て理事長の許可を得公認競技場として認定す

公認されたる競技場には公認證を交付す、其の有效期間は公認の日より三年間とす、但し改造又は變造したるときは再調査を要す公認を繼續せんとする場合は有效期間滿了六ケ月前に申請をなすべし

第六條　公認競技場ある地域事務局は毎年五月十五日迄に其の競技場が公認の條件を充し居るや否やに付本聯盟に報告すべきものとす

第七條　公認競技場にして公認の條件に合致せざる事實生じたる場合は公認を取消すことあるべし

第八條　調査に當り實測すべき必要事項左の如し

一、角石の位置

二、一周の距離計測

イ、曲走路の距離

ロ、曲走路の中心と內圈の距離

三、走路競技場の水準

四、各出發線及各決勝線の位置

第九條　調査に當り許さるべき誤差及公認に關する細則は別に之を定む

一、測定上に關するもの

二、設備上に關するもの

第十條　公認競技場にて作成せる記錄は公認す

第十一條　第一種、第二種公認競技場に於ける必備器具左の如し

第一種

一、風速計(短時測定用)

二、風向計

三、鋼鐵製檢度濟卷尺(三〇米一個、五〇米一個)

四、周回表示器並に衡器(十瓩)

五、[illegible]器

六、高跳高度計

七、距離標識

八、跳躍競技高度及距離表示器

九、國旗掲揚柱

一〇、スコアボールド

一一、メガホン、ショベル、ライン引具、地慣用鐵其の他

一二、公式競技器具必要數量

第二種

一、鋼鐵製檢度濟卷尺(三〇米一個)並に衡器(十瓩)

二、周回表示器

三、高跳高度計

四、距離標識

五、國旗掲揚柱

六、メガホン、ショベル、ライン引具、地慣用鐵其の他

附則

本規定は康德四年十二月一日より施行す

出陣縁起物語
彈除け呪符の由來
神國日本の國民性躍如

太古の時代は周知の如く氏族制度であり、氏族長が軍師でもあり政治の首長でもあつた。出征に際しては氏神に對する祈願が最大の行事であつた。武器をもつて闘ふ前に先づ呪術戰が行はれこれを神策と稱した。この神策は一方に於て出征の幸先を占ひ、神璽を受くる所以を明かにし、他方に於ては士氣を皷舞して必勝を期したのである。これは神代時代に盛んであつたが、武器の發達と共に次第に簡略化されて石占、祈約、祈狩等に轉化して來た。景行天皇が九州の土蜘蛛賊を征伐される爲、豐後にて廣さ三尺、長さ三尺の石に祈つて「この賊を滅さむとす、この石を蹶すに、譬へば柏の葉の如に擧れ」と宣ひて蹶ると木葉の如くに舞ひ上り、爲に士氣大いにあがり大捷を收めることが出來た。また神功皇后が新羅を征服すべく肥前の松浦に到り、御自ら針をまげて鈎を作り飯粒を餌にして祈り「事を成すとあらば、河の魚つくり鈎へ」と竿をあげて鮎を獲給ふたことは歷史の語るところであるが、凡て石占、祈釣なのである。

かくの如く太古の戰爭は自然とし神佛に祈り、軍卒の和を計り士氣を皷舞することが軍法の秘訣であつて大將たる者の苦心は實に容易ならぬものがあつたのである。

□

ところが佛教の傳來に依つて神占ひと共に、佛に祈ることが盛となつて來た。聖德太子が物部守屋と戰はれた折には、太子は白膠木で四天王の像を造り、それを頂髮に置き敵に勝たしめば護世四天王の爲に寺塔を建立せんと誓言して守屋を誅せられ、後に四天王寺を建てたと傳へられる。

之が後世に至つて軍神として八幡神の信仰となり、多くの將兵が兜の上に八幡神を祀り戰場を驅け廻つたのである。那須與市は扇の的で八幡神を祈つて功名を立て、加藤清正の立烏帽は法華經の經文で張つたものであり、其他當時歷史に殘る英雄は凡て、自分の信仰する神佛を兜に祀り、戰勝を期したことは餘りにも有名である。

この時代になつて武士といふ階級が隱然たる勢力を持つやうになり、源平二氏の戰などはその時代の政治權力を代表する爭覇であつた。武士階級の出現は自然に戰術の上にも一大進步を遂げ、戰爭に伴ふ諸般の作法が工夫された。即ち出征に際しては軍神の血祭りとして捕虜又は卑怯の行動あつた士卒を斬り士氣を皷舞したのである。文治五年源頼朝が奥州征伐よりの歸途、捕虜を血祭り用として宇都宮大神に奉納したことがあるが、これなどは、單なる血祭りでなく、生かして勞役に使ふ神奴であり、經濟的に相當發達しつゝあつた當時を忍ばせる。當時の血祭りで有名なのは源爲朝が保之の亂に「軍神を祭らん」とて得意の强弓で、平清盛の臣伊藤六を射つたり、畠山重忠が木曾義仲の郎黨長瀨重綱の首をねぢ切つて宇治川の戰の血祭りに擧げ、また粟津の戰ひでは義仲の妾巴御前が、内田家吉の「首をねぢ切つて軍神を祭らん」と凄いところを見せ、元弘二年正茂の赤坂城が落ち二百八十餘人が捕虜となつた時「合戰のこと始めなれば軍神に祀りて、人に見懲りさせよ」とて六條河原に引出し、一人殘らず首を刎ねたり」とある。戰亂相繼いだ當時の攻城野戰の殺氣立つた戰場では、日常茶飯事として血祭りが行はれたらしい。

□

この頃になると戰爭の作法も、出陣の作法も嚴肅になり道途の祝儀なども打鮑、勝栗、昆布を肴にして冷酒を飲んで盛大な儀式を行つたものである。但し酒などは今日の如き淸酒は無かつたから濁酒であつた。

この出陣や合戰の日と時を選ぶことは武將の最も苦心したところで、必ず吉日を選んで神に祈願をこめたのである。保之の亂に平清盛は明れば「七月十一日、東塞りの惡日なる上に、朝日に向つて弓引くことは恐れあり」とて、三條河原へ避けたとあり、源頼朝が治承四年に興を起し、八牧判官兼隆を夜討せんとて北條時政にこれを討つた時、時政は「今夜は三島神社の御神事にて、伊豆國中には弓矢を取るもの候はず」と云つてゐる。神社の祭日は勿論一ヶ月のうちでも合戰する吉日は數へる程しか無かつたらしいから、戰爭といふと、大抵同じ日が選ばれ、敵味方共、自分の勝利を自負して出陣した。だから當時としては日や時の選定が第一に擧げられてゐる。一日のうちに必ず人の死ぬ時刻があつたり、秀節に依つてそれも變つたりするので、軍師はこれを專門に考へてゐたらしい。

然し戰術として特に惡日を選んで出陣し大勝を博した場合も無いではない。關ヶ原の合戰に德川家康が開戰せんとすると、關東の諸將が今日は西塞りの凶日故、明日に延期すべしと諫めたところ、家康は西塞りゆゑこれを開く爲に戰ふのだと答へて開戰し大勝を博したといふ。緣起は常に緣起であつて、この時代から次第に樣々な理窟が付けられ凶日不戰の不文律が亂れて來たらしい。

いざ出陣となると、大軍を引きつれて出掛けるのであるから、途中で士氣が亂れること屢々あつた。これを防ぎ更らに戰勝を祀る爲に途中に神社があると必ず將兵は矢を獻じ全軍これに祈願したものである。これが次第に變化して、境內の神木に矢を射立てそれが中るか否かで吉凶を占ふやうになり、全國到るところの神社にこの吉事を物語る矢立杉、矢立松が殘つてゐる。

更らにこの戰勝占ひの一つに錢占ひといふのがある。織田信長が桶狹間の戰で今川義元を討つ時、通用錢を川に投じ、我軍に勝利あらば悉く波形を示せと占ふと錢が凡て波形になつて流れたので、全軍の士氣大いにあがり遂に大勝利を獲たとある。この占ひは大將たる者の機智に依ることが大きいのであるが、大合戰の時には田螺占ひとして有名な話が殘つてゐる。即ち野馬左馬之進が田螺三ッを大阪方の秀頼、木村重成、大野治長として片隅に置き、更らに三ッを關東方の家康、井伊直政、藤堂高虎として置き、一夜その勝敗を占つたら、關東方が勝つてゐたので士氣大いに擧つたといふ、大將たるもの又難い哉である。

□

弓矢の戰ひも鐵砲の傳來に依つて戰術も一變し、奇襲戰術の效果が重要視される樣になると從來の占ひだけでは役に立たなくなつた。それで今度は砲彈除けの呪符が發案さるるに至つた。即ち「サムハラ」といふのがそれである。この「サムハラ」といふのは梵語であつて、石清水八幡宮で出してゐたと云ひ、一說には加藤清正が朝鮮征伐に用ひたのが初めだとも云ひ明らかでないが、兎角この防彈呪符は古くから存在するらしい。

これと共に彈丸除け、武運長久を祈る爲に千といふ數が御利益があると云はれ、德川時代から盛んに俗信を授けた千社詣、千度詣、千手觀音等々凡てこの種の御利益絕大と云はれ、これが日淸、日露の戰ひには千人結びとなつて出征軍人に送られ、今度の支那事變には千人針又は千人力となつて彈除けの守りとまで發展して來た。戰爭と神の加護これは我國の國民性として古代から傳へられたもので、神國日本の特徴と云へるであらう。

家庭

とても可愛くなる 毛糸のスカート
お母樣の夜長の編物

▼……子供のスエーターは、毛糸編で普通に賣つてもゐますし、又手編みのお持ち合せもございませうから配合のよい濃い色で可愛いお孃ちやんのスカートを一枚編んでおあげ下さい。これは上からかぶつて肩紐でたすきに吊るやうにすると一層かはいらしくなります。

▼……編み方は、長編でぐる〳〵と眞直ぐの輪に丈だけ編み、上部を適當に縮めて一寸位のへりをつけ、同じ間でたすきをつけたゞけのものです。たすきのうしろは十文字にしてもよし、たゞ肩にかけるだけでもよろしいでせう。

▼……赤とか、綠とか、紺のやうなはつきりした濃いもので編んでお置きになればたいがいのスエーターに合ひます。

本紙特約 連載漫畫 ガラムシやおピー　倉金良行

ガーン
ショウタイアラワセッ
ナニヲヌサイマス
シレタコトシッポヲヒキヌイテクレーン
キャーッドロボウッ
ドウデイ
ナニガオモシロクテコシエサシテオイタホウキヲヌスムダ
ウヘエホウキカア

如何にすれば合理的に暖いか
厚着は重くて損です

寒いときの着物は何んでもたくさん着さへすれば暖かいやうに一般にはまだ考へてゐるものがすくなくありませんもちろんこれでも數をすくなく着るよりは暖かいにきまつてゐますが、これは大分

◇……損な……◇

着方で合理的に着れば三枚でよいところを四枚重ねなければ同じ暖かさが得られないといふ結果になります。ではどんな着方が合理的か、洋服の場合でいひますと下着には毛のメリヤスや編物を、上着には羅紗、メルトン、革等を着るのがよいなぜ毛のメリヤスや編物は下にしなければならないかといへば一體に毛を原料としたもの、特に編物などでは空氣を含む量が非常に大で、したがつて保溫力が强い。それとやはらかく輕いといふことが下着として適してゐることゝなります。これには編目は細かいものよりもやゝ大きい方がよい。それも厚くやはらかくふつくりと編んだものを用ふべきです。しかし直接これを肌に着ると皮膚が刺戟され、幼兒などでは皮膚炎を起すやうな場合もまれではないのです。この下にもう一つ薄地の綿布、絹メリヤスといつたものを着た方が本當は理想ですところで上にはなぜ

◇……羅紗……◇

やメルトン、革などを着るのかといふに上に編目或は織目の大きいものを着ると折角下着の間でたくさんの空氣が保溫されてゐるのをにがしてしまふからでそこで上着には目の密なものを着ることゝなります。かういふ意味で毛織物のチヨツキは洋服のチヨツキの下に着るべきでまた上に編物を着る場合は細かく密に編んだ空氣の流通の少いものをつけなければなりません。

けふの番組
【M・T・C・Y 新京放送局】廿五日（木曜日）

◇朝◇

六、五五ニュース（東京）
七、〇〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
七、二〇中等滿洲語講座（大連）講師 秩父固太郎
七、四五朝の音樂（大連）
八、二〇氣象通報（東京）
八、四五建國體操
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座 滿洲の冬の生活と健康 市立醫院長 醫學博士 山口淸治
一〇、二五料理獻立
一〇、三五家庭メモ
一〇、四〇經濟市況（大連・新京）
一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）

◇晝◇

〇、〇一晝の演藝 國民歌謠 伊藤良親 伴奏 CY放送樂團 指揮 佐竹正光
一、行けよつはもの　作間喬宜作詞　AK文藝部作曲
二、航空決死兵　稻野靜哉作詞　內田元作曲
三、筏流し　門叶三千男作詞　宮原康郎作曲
四、空爆の歌　勝承夫作詞　服部良一作曲
五、通州　堀內敬三作詞並作曲
六、爆彈二將校　佐伯孝夫作詞　杉山長谷夫作曲
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、四〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京）ニュース・氣象通報（新京）
四、四〇經濟市況（大連・新京）
五、二〇ニュース（鮮語）時事解說 金景載

◇夜◇

六、〇〇子供の時間（小倉）お話と作文朗讀 戰亂の支那より避難して
一、お話 小倉市北方小學校訓導 相部延三郎（宜昌）
二、作文朗讀 小倉商業學校一年生 大德正雄（靑島）
小倉市堺町小學校五年生 岡部武千（上海）
同 四年生 井上晋丸（靑島）
同 一年生 永松久美（涿州）
同 六年生 山本美代子（上海）
六、二〇コドモの新聞（東京）關屋五十二
六、二五講演 治外法權撤廢並に滿鐵附屬地行政權移讓に就て 國務院總務廳法制處長 松木俠
七、〇〇ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇新日本音樂（東京）一、晚秋 太田雅擴 外 二、飛躍
七、五〇（東京）未定
日獨防共協定一周年記念日 獨交驩放送
八、三〇（獨逸より）未定
八、四五（日本より）
（一）獨逸國歌及ナチス黨歌 日本放送交響樂團 指揮 山田耕作
（二）挨拶 日獨防共協定一周年に際して 放送者未定
（三）管絃樂 JOAK行進曲 山田耕作作曲 日本放送交響樂團 指揮 山田耕作
九、〇〇（東京）未定
九、二九時報・ニュース・ニュース解說 ニュース・氣象通報（東京）告知事項・番組豫告（新京）
一〇、二〇ニュース再放送 アナウンサー 上森、宮岡

國民歌謠
（新京）後〇・〇一
唄 伊藤良親　伴奏 CY放送樂團　指揮 佐竹正光

行けよつはもの

一、みよ日の丸の旗風に、醜の諸草ふみくだき皇師堂々行くところ、いむかうものはなかりけり
二、今こそ召されすめらぎのすめら御國の御爲に君は起ちたり決然と、かゞやくほまれ荷ひつゝ
三、心安かれ國を擧げ、天をも衝かん意氣高く銃後の守りゆるぎなし、いざ行け樹てよいさをしを 萬歲、萬歲、萬歲

航空決死兵

拂へぞ散らぬ黑雲の、東西の空に吹きすさぶ、世紀のちらし身に負ひて、飛ぶよ航空決死兵
積りに積る暴戾を、碎くは今ぞこの時と、曠野に注ぐ瞳は燃えて、飛ぶよ航空決死兵
祖國の危擔いては、斷じて生きて還らざる、男の子の決意高鳴りて、飛ぶよ航空決死兵
狂へる龍を擊つは此處、我が討死もこの空と、征衷の翼血に染めて、飛ぶよ航空決死兵

空爆の歌
作詞 勝承夫　作曲 服部良一

翼の日の丸朝日をうけて、進む雄々しい飛行隊 ゆけよいざゆけ爆彈投下 空の勇士の意氣を示せよ
「よし」と落せばそれ黑煙、木ッ葉微塵の敵の陣 胸のすくよな爆彈投下 空の勇士の意氣を示せよ
むらがる敵兵空から追つて、ヒラリ銀翼をひるがへす たてよ勳功爆彈投下 空の勇士の意氣を示せよ

通州
（作詞並作曲堀內敬三）

一、鳴早き通州の空に谺す銃の音 兵變すはや起りたれ我が帝國の恩あつき樂土冀東のたゞ中に
二、撫民の假面脫き棄てゝ兇器を揮ふ保安隊東洋の野に敗れたる二十九軍の殘兵ともろとも高く叫びつゝ
三、向ふは何處良政の指導につくす我が官衙襲ふは何處商工の平和の業にいそしめる武器なき人の住む家ぞ
四、矢庭に注ぐ機關銃迫擊砲の彈丸の雨家をば毀ち火を放ち財をば掠め人を刺し幼き者を射ち倒す
五、時務機關や守備隊や全員こぞり戰へど衆寡の數をいかにせん彈丸つきて劍折れ全員難に殉じたり
六、鬼畜の所行さながらに殘虐飽かぬ賊の群悲憤のごしつゝ婦女老若をおしなべて同胞二百これに死す
七、あゝ通州は血の巷樂土冀東は夢なりき日東男子いざ起ちて信なく義なく涙なき暴虐の徒を碎き去れ

爆彈二將校
作詞 佐伯孝夫　作曲 杉山長谷夫

一、炎熱灼ける七月の、二十九日の朝まだき、高梁がくれ南苑の、敵陣襲ふわが部隊、かこめば驍く敵兵が、賴む城壁二十尺
二、地勢を利して釣瓶打ち、十字砲火の小癪さよ、守れば守れ打たば打て、擊破の自信われにあり、軋壞忽ち乘り越える、伊藤と千葉の二將校
三、爆彈しかと身につけて、上づる城壁二十尺、敵彈亂れて飛ぶ中を、阿修羅か鬼か豪勇か、頃合はかりく點火すりや、容をつんざく爆音ぞ
四、城壁くづれ敵は散る、あわれ何處とたづぬれば、伊藤と千葉のまぼろしが、莞爾と招く突擊路、あゝ南苑の兩勇士、高きその名に光榮あれ

新日本音樂
（東京）後七・三〇
太田雅擴ほか

一、晚秋　竹友藻風作詞　中村双葉作曲

「ひそ〳〵落葉する窓のとぼそに夜もすがら、行く秋の風はおとなひ、ゆり動く木の枝、所々にしのびよる月、白きあうらをかへす「秋深きわが住家こそ靜かなれ、月明り窓の面にみちわたり、あやみなくふりしきる、落葉の調べ、ひそ〳〵とはてしなき、やみにひろごれる

二、飛躍　久本玄智作曲

二調子の快速なる旋律によつて飛躍の氣分を表現せし曲。

海外話の種

カナダ横斷空路計畫

【ケベック發國通】カナダでは目下カナダ横斷輸送空路を開設しようと着々準備を進めてゐるが、地勢嶮峻の箇所が多いので空港其他地上設備に非常な困難を經驗してゐる。然し來春までには大西洋、太平兩岸間に百の空港を設置し、全空路にわたつてラヂオ標識を完備する見込である、右につき運相C・D・ホー氏曰く
「あの地勢嶮峻なカナディアン・ロッキー山脈中に不時着陸場をつくることに成功したらそれこそ實に奇蹟的成功と言へよう」

夫婦和合の秘訣

【ベルグラード發國通】米國のマッキーヴァー牧師の夫婦圓滿和合法に對抗したわけでもあるまいが、ユーゴースラヴィアの一作家は結婚も亦科學なりとして左の如き夫婦圓滿法を發表した
「結婚は結局科學の一分野であるから夫婦和合を望む婦人達は結婚を科學的に取扱ふ必要がある」即ち夫の操縱法として心得へ置くべきことは
一、母の如き氣分を以て夫を子供の如く愛撫せよ
一、主婦として愛と優しさとを以て夫の要求を滿たせ
一、同伴者として萬一の場合夫と生死を共にするだけの決意を示せ
一、友人として夫の趣味を理解せよ
一、個人として自己の個性は飽く迄も失ふな
さらに妻のべからず帖は
一、嫉妬を顏に出すこと
一、茶飯事で夫を惱ますこと
一、夫に對し色々と詮鑿すること
右の諸條怠らざるに於ては夫婦圓滿、家內安全ゆめ疑ひなしとある

事變トピック
軍部司會の記事

◇軍部自ら司會しての座談會が而も戰地で擧行されたといふことは蓋し空前である。これを大衆雜誌日の出が發表したことは、近時いよ〳〵躍進の途にある同誌の爲めに祝福せざるを得ない。この「保定陷落大座談會」は、矢崎部隊長司會のもとに保定攻略戰に加はつた坂西、石黑、森田、遠山各部隊から將兵百二十名の多數が出席したものであるが實に事變以來且つは雜誌界空前の大座談會といへよう。保定戰のニウスは勿論新聞紙の報ずる所であるが、この將兵の秘めたる手柄話は、流石に日の出が、雜誌の畑らしい見事な拔ひ方で、前後八時間に亘る大座談會の記錄を一氣に讀ませる編輯の手際は見事なものだ。記者も近來になく感激ふかく讀んだ。その他櫻井肉彈少將の「皇軍破竹の秋」一幅永海軍少佐の「上海戰線を見る」の二篇は雜誌界事變ものゝうちで流石に出色の讀物だ。適所適材、この筆者にして始めて描き得た從軍記であらう。武藤貞一の「戰爭は空中に始まり地中に終る」はこれも當代の軍事評論家と云はれるだけのものはある。永戶政治の「英國はなぜ日本に楯つくか」は大衆時事解說として床屋、湯屋の時局通には蓋し驚くべき特ダネであらう

◇事變ものなら日の出と自稱するだけあつて事變小說讀物特輯に貴富な實戰談記事には切つてゐるのも時節柄賴母しい。發行元新潮社では發賣二十四時間にして賣切を報じてゐるが、この努力せる內容にしてこの成果を酬ひられたものであらう。

◇ついでに附け加へると「大部屋俳優座談會」はもう少し舞臺裏、セット裏の赤裸な打明け話が欲しかつた。曲藝家飾木義豐の「死の冒險曲技物語」も今一步突き込んだ實際味が欲しい。洋畫家鹿田剛治の「窓に浮く女の顏」は一寸風變りな怪談で面白い。

◇長篇小說陣に菊池寬、江戶川亂步、吉屋信子、吉川英治、大佛次郎、片岡鐵兵と揃へた壯觀は今更數に述べるまでもあるまい。（日の出十二月號支那事變大特輯、定價六十錢東京牛込矢來、新潮社發行）

學藝

創作

鴉片（下）

大脇一雄

—請座吧—

—家に入ると女は洋間めいた一室に案内して正面に長々と寢そべつてゐるソファを指しながら二度目の聲をかけた

—諦々你—やつぱり男の聲は出なかつた—男は何だか急に恐ろしくなつて逃出したい樣な衝動をぢつと堪へてゐた

—女は男の後へ廻つて男に帽子とオーバーをとらせた

—男は汚れ切つた自分の帽子とオーバーが美しいこの部屋とは凡そ不似合な恰好をして隅の方に見窄しく蹲つてゐるのを腹立しく思つたが急におかしくなつてクフ、フ、フ〃と他愛もない笑を洩してゐた

—お茶が運ばれ瓜子兒が運ばれた

—一體此處は何處で……私は……

—男は堪へ切れなくなつて言つた

—だがやつぱり男の聲は出なかつた、而し男はそれを一寸も不思議だとは思はなかつた

——————————。

—それは長い間の沈默だつた

—不氣味な程おし默つて座り續けてゐたのだつた

—その間男は考へ續けた、だがやつぱり思ひ出せなかつた

—部屋の中はホノ甘い女の香で充されてゐて男は自分が何物かの爲に絶えず苛々してゐるのに驚いた。

—請你不要抽大煙—

—女の三度目の聲だつた

—男は子供の樣にコックリと頷いて見せた

—男はその場合完全な女の忠實なる奴隷以外の何物でもなかつた

—そして男は女の爲に眞白な石膏細工の前に跪いて今後絶對に鴉片は吸ひませんと誓はされてゐた

—男は疑つた、〃どうして俺はこんな事をするのか〃と、だが女は男を見えない透明な力でぐんぐんを擂つて行つた

—やがて男はホノ甘い女の體臭を存分に嗅いだ、そしてふつくりと輕い女の體重に恍惚と醉つてゐた。

—フト男は眼を閉いた

—そこは埃と鴉片の煙の爲め灰色に濁つた部屋の中のたつた一つの而かも眞黒に汚れ切つたボロベッドの上だつた

—やつぱり夢か—

—男は吐き出す樣に言ふと自分の横に長々と寢そべつてゐる女を猫の樣に突除けた

—それは先程の美しい女ではなく唇だけを眞赤にした女だつた

—チエッ—

—男はくしゃくしゃになつた一枚の紙幣を投げる樣に置くとオーバーと帽子を取つて階段を降りて行つた

—大人—

—先生!!先生—

—何僂ゝ女はすかさず紙幣に飛び附いたが何を思つたか一樣に男の影を追つかけた

—男は默つたまんま振向うともせずドアーを押すと外へ出た

—そこには鴉片も夢も女も無く、只小雪交りの寒風が無遠慮に男の頭額を叩いてゐた

—男はどうしても思ひ出せなかつた

—男は焦つてゐた

—コトコトと靴音だけが妙に輕かつた

—チエッ—

—と、男の腦中に閃いたものが有つたが男は苦々しく舌打をしただけだつた

—フン　莫迦な!!　何が鴉片をやめろだい

—男はやつと思ひ出したのだつた

—男の腦味噌は十五、六枚の紙幣の爲め張親分の所へ叩き賣られる樣に連れて行かれた愛人の顏でくちゃくちゃに攪廻されてゐた、そして女が最後に殘した言葉よりも無力だつた自分自身に反撥し激昂してゐるのだつた

—男の體は振へてゐた

—男は最早自分の體がチョコレート無しでは一日も暮せぬ事を知つてゐた

—男は頻にナメクジの樣な生温いものが幾條も傳つてゐるのにハッとした

—フ、フ、フ、フー

—男はそれを遠くへ蹴飛ばす樣に尖つた鼻の先の皺の間から他愛もない笑ひを洩すとすうつと白い息をのこしてやつぱり默つたまんま眞暗な闇の中を吸はれる樣に現實の彼方へ消えて行つた（完）

新年文藝懸賞募集

ペンは劍よりも強しと言はれ來つたことをわれらは想起する、殷々たる砲火の中に於てこそ文化の大旆は輝しく押進められるべきであらう、昭和十三年の新旦を迎へるに當り本社では恒例の新年文藝を左の通りひろく募集するが、清新、意力溢れる讀者諸君のペンが旺んなる民族の歌聲を刻み將又滿洲文藝界の逞しき躍進譜を示さんことは啻に本紙の榮譽たるに止まらぬと思ふ、意義深き王道文化確立のためこの企畫に諸君の協力を希つて止まない。

募集規定

（A）種目（賞金）

1、創作（小說、戲曲）
四百字詰原稿用紙二十五枚以内
一等（一篇）……賞金二十圓
二等（二篇）……同　各十圓
選外佳作……本紙三ケ月購讀券

2、詩
四百字詰原稿用紙四十行以内
一等（一篇）……賞金十圓
二等（〃）……同　五圓
三等（〃）……同　三圓
佳作……本紙一ケ月購讀券

3、短歌
用紙は官製ハガキ、一人三首以内
一等（一名）……賞金五圓
二等（二名）……同各三圓
三等（三名）……同各一圓
佳作……本紙一ケ月購讀券

4、俳句
用紙は官製ハガキ、一人三句以内
天（一名）……賞金五圓
地（二名）……同各三圓
人（三名）……同〃一圓
佳作……本紙一ケ月購讀券

5、川柳
用紙は官製ハガキ、一人三句以内
天（一名）……賞金五圓
地（二名）……同各三圓
人（三名）……同〃一圓
佳作……本紙一ケ月購讀券

審査の嚴正を期するために、特に應募小說は原稿には氏名を認さず、別紙一枚に題氏名を（ペンネームを用ふる時は本名も併記す）を明記すること

（郵稅不足その他規定に反するものは一切採らず）

（B）選者
創作……本社編輯局同人
詩……加藤郁哉氏
短歌……甲斐水棹氏
俳句……三木朱城氏
川柳……青龍刀氏

（C）締切期日
本年十二月十五日（十五日の消印あるものは受付く）

（D）發表
本紙明年一月一日號紙上、賞金は發表後一ケ月以内に送付す

（E）宛名
原稿は全て「新京永樂町四丁目新京日日新聞社編輯局」宛、選者へ直接送付は一切無效、封筒表皮及び葉書裏に必ず（新年懸賞應募原稿）と朱書のこと

バクゲキ

『文學界』の卷頭言のこと

雜誌『文學界』十二月號が同人の共同宣言の如きものを發表した。それによると、この時局下に各人政治的黨派より發言することを行はず、專ら文化の仕事に專心するといふのらしい。

報知新聞の匿名評論であつたが、大體贊意を表してゐたやうである。われらは『文學界』同人がどんな政治的黨派に屬した面々であつたかを知らぬ。一體それまでさうした重要性のある發言をしたことを知らぬのであるが今さらそんな「政治からの退却」をことはらなくてもよからう、若し實際にそんな政治的黨派に屬してゐるならば、とさう思ふ。

それに「文化の擁護」といふものが、決して一面的な包括的なものであり得ず、何らかの政治性を帶びることが必至なのではあるまいかとわれらは思ふのだが、明識深學の『文學界』同人にしてそんなことを默殺しやうとするのであらうか。當今問題とすべき宣言であると信ずる。（御垣衞士）

本社主催　文藝懇親會

本社恒例の座談會を左の通り開催しますが今回は忘年會の意味も兼ねてひろくペン人の親睦、顏合せ會といふことにしたいと思ひます、尚準備の都合もありますので御參會下さる方は本社學藝部、（電③三二二五）宛豫め御知らせおき下さい。

日時　十一月二十七日（土）午後六時
場所　賓宴樓（東三條通り）
會費　三圓（當日持參）

學藝消息

△細川明氏　二十三日出張の途新京に立寄つた
△三井實雄氏　同日北支視察から歸任

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部寄贈附相成度し（係）

△滿洲公論（十一月號）支那事變に關する諸論文と文藝種々、前者は硬く、後者はくだけすぎたやうな色彩、異色ある編輯とも言へやう（大連市紀伊町九、滿洲公論社、五十錢）
△明道（第六號）田崎仁義「明道論」—林尾友次郎「佛教に依る王道概念の補强」—久保田天南「南畫に就いて」—五号安二郎「資治通鑑綱目と勤王思想」—袁金鎧「中庸講義」等を載せ春秋戰國七雄割據概圖を附錄とす（新京國務院總務廳內、王道學會）
△國內石油資源開發に關する應急對策建議
△燃料國策研究會々報（十一月十日）右は、國內油田開發の要を說いたパンフレットとまたこのために活動してゐる會の報告である（東京市麴町區內幸町一ノ五、燃料國策研究會）
△北支那（十一月號）「北那は蘇へる」「市場としての北支の將來を語る」その他、新しい情勢を迎へた北支の近狀をよく語るものであらう（天津日本租界松島街二、北支那社、卅仙）
△大連商工會議所々報（十一月十五日號）愛國商店聯盟の活躍、北支經濟情報、各種經濟消息等を載せてゐる（大連市敷島町八二、大連商工會議所、十錢）
△大陸研究（十一月號）滿洲支那に關する諸記事を載せてゐる（東京市神田區旭町七、大陸研究社、四十錢）
△滿洲評論（十二月廿日號）滿川八郎「日產資本形成過程の特質と滿洲經營の新段階」下」末好不二雄「重工業會社設立の意義と滿洲產業統制に對する影響」下」の二論稿、三つの時評を收め滿洲の高級評論誌としての貫祿を示す（大連市大廣場東拓ビル、滿洲評論社、十五錢）
△報國評論（十一月號）安井誠一郎「時局と滿洲移民」その他（東京市澁谷區幡ケ谷本町二ノ七五〇、大日本報國會本部、三十錢）
△ＨＯＷ　ＴＯ　ＳＥＥ　ＴＩＥＮＴＳＩＮ〃英文を以つてした天津の案內書（ジャパン・ツーリスト・ビューロー滿洲支部）
△北平　北京の案內書、多くの寫眞に解說を添ふ（ジャパン・ツーリスト・ビューロー滿洲支部）
△剿軍（十一月七日號）「共產黨甚於洪水猛獸」その他（治安部調査課）
△農業と機械（十一月中旬號）「滿洲向新農具紹介」—滿洲農業機械化座談會速記錄—その他農具に關する諸記事（東京市本所區石原町一ノ二七、農業と機械社、二十錢）
△在滿朝鮮人通信（第四十號）治廢及行政權移讓調印、滿洲國新學制、日獨伊防共協定成立、蒙古民族大會等の記事を載す（奉天彌生町四四興亞協會辦事處、十五錢）

皇軍慰問
まごころこめた
贈物
内地送りに
是非甘栗太郎
の甘栗を!!

チツチヤイお手々
これなあに
あてたら一つ
あげませう
あめちよこなんかぢや
ないことよ
ピンクのからに
コガネのつぶよ
甘栗太郎の
甘栗よ

甘栗には種々類似品が御座居ますから特に甘栗太郎のマークに御注意願ひます

甘栗太郎

新京・銀座
電(3)二八八七
三七七八番

秘境西藏の使徒 きのふ國都入り
盛裝の銅羅太鼓隊の歡迎に 華麗な古典風景展開
活佛安欽呼圖克圖師

スペインを繞る歐洲の危機も、支那事變に依る極東情勢の推移もそしらぬ顏で、廿世紀の文明世界から遠く隔絕、未だに數千年前と同樣に平和な原始生活を續けてゐる秘境西藏から王道の光求めて遙々滿洲國訪問の途に上つた西藏活佛安欽呼圖克圖師一行十二名は二十四日午後六時二十分着「あじあ」で參議齊王、興安局關係者多數の出迎へを受けて華々しく都入りした

先づ列車がスルスルとホームに滑り込むや待機してゐた赤や黃の金魚の樣にけばけばしい衣服に身をかため大きな雞頭型の帽子で盛裝したコロラス前旗王府の音樂隊十名がドーンと途法もない大きな太鼓の音を合圖に一齊にガシャンブーブーと鳴り出した、驚ろいた乘客の首が昇降口に一杯鈴なりになつた、何も知らぬ見送り人や出迎へ人等が好奇心で續々と蟻の樣につめかけ忽ち眞黑な人の波が一等車の昇降口にどよめく、やがてこのお經行進曲の樣な奇妙なオーケストラに吸ひ出される樣に一人の喇嘛僧がプラットホームに降り立つと續いて又一人、忽ちの間に何れも燃え上る樣な黃と赤の喇嘛僧が十餘名ぞろぞろと出揃ふと地下道の方向に向つて靜かな移動を開始した、どれが活佛かさつぱり見當がつかない、大きな布ばりの傘が行列の中心にパッと掲げられた、山羊髯を生やした

上品な

老僧がその下をゆつたりと步を運んでゐる、モダンなロイド眼鏡をかけてゐる、顏色も思つたよりはつやつやしてゐる、この老僧が即ち生殺與奪の權をもつて西藏民衆の上に君臨する文字通りの活ける佛安欽呼圖克圖師なのである、國都の玄關として近代的裝備を誇る新京驛頭は時ならぬ平和の使徒の訪れに依つて近代色と原始色と、科學と神秘の妙なカクテールが出來上つて仕舞つた、寫眞班のたくフラッシュの絕え間ない閃光の中に銅羅や太鼓の奏でる例の行進曲が一しきり鳴り響くと地下道を拔けた行列は驛貴賓室に滑り込んでしまつた貴賓室の椅子に腰を下した活佛は一通り信者の頭をなで終ると今度は出迎への人々からの猛烈な握手攻めだ、漸くそれも終つて一息ついと又寫眞班のフラッシュ、シャッターの雨……暫くけげん相にそれを眺めてゐた活佛は秘書と何か私語した後通譯を通じ

這度滿洲國の御招待により當地に參りますに付きましては、遠く北京迄も御出迎を受け、本日は又わざわざ興安局總裁閣下を初め各位の御叮重なる御迎えを辱うし誠に感激に堪えない次第であります

私は建國の當初貴國を訪れ五年後の今日再び此の國都に參りましたが今日迄の見聞に徵しても貴國の飛躍發展は昭として蔽ふべくもなく唯々驚嘆の外は御座いません、當地での滯在は僅に五日間に過ぎませんが幸に此の間に於ては

各機關

との連絡は勿論、滿洲國內蒙古の喇嘛代表の方々と親しく面談致しまして充分の交歡をつくす事になつて居りますので蒙藏兩地方の間に宗教を以て充分の連絡協調の出來る樣に盡力致したいと存してゐる次第であります

尚先般參りました時には畏くも皇帝陛下より謁見の恩命に浴し今回又量らずも同樣の榮を賜られる出洩れ承り實に私の身に餘る光榮たるのみならず等しく同宗同門の榮譽なりと存ずる次第であります

這度見聞致しました躍進滿洲國、王道樂土の實情は歸藏後普く民衆に傳ふるは謂ふ迄もなく又私自身、貴國の御芳情に對して永へに追懷惜く能はざる想出となるものと信じて疑はない處であります

と仲々如才のない挨拶を述べ十分の後再び元の物々しい行列をつくり樂隊につれられて自動車の人となり、滯京中の宿舍である越香春旅館に向ひ平和な國都の闇の中に姿を消してしまつた尚活佛一行の滯京中の日程は左の如くである

二十五日、午前中新京神社忠靈塔を參拜後、國務院興安局、其他政府各機關、協和會本部を訪れ午後は關東軍、大使館、關東局、憲兵隊司令部、駐滿海軍部、滿鐵支社を訪れ、午後六時より軍司令官の招宴、廿六日午前中宮內府參內拜謁、午後は國都視察、午後六時から總理大臣の招宴、廿七日、午前般若寺誦經、午後安欽呼圖克圖師一行と國內喇嘛代表と會談午後六時總裁招宴 二十八日、午前九時廿分新京出發歸途へ【寫眞は新京驛貴賓室における活佛安欽呼圖克圖師と(右)參議齊王(左)】

治廢の眞意を徹底
多彩な裝飾、自動車行進など 國都慶祝行事本極り

來る十二月一日治外法權撤廢實施を慶祝する國都新京に於ける行事については二十四日午後一時半より協和會首都本部に於いて首都常務員會議を開き次の如く決定した

一、各官廳會社及び各家庭に日滿國旗を揭揚する
二、アドヴァルーン浮揚、アーチ造築、慶祝門造築、電飾、街頭裝飾等によつて市內裝飾を行ふ
三、一日午前十時より各官廳會社、民間の提供による自動車約百台、裝飾したバストラック十餘台をもつて大同廣場を出發し二隊に分れ自動車行進を行ふ
四、協和會各分會に於いて座談會を開催する
五、治外法權撤廢記念塔或ひは記念會館建設運動を開始する
六、一日より十日間治廢記念展覽會を寶山百貨店に於いて開催する
七、花火打揚を行ふ

なほ同日の會議ではこの外に國民使節報告會開催の件、時局對處工作案の件、新京神社維持に關する件等についても協議を行つた

克山病患者發生

克山病分布調查第二班は龍江省克山縣通寬鎭東方十八滿里の地點にある一部落に年齡廿二才の婦人が克山病で臥床してゐる旨廿四日午後保健司防疫科に報じて來たが、姓名は不詳である、克山病患者は今冬に入つてから濱江省靑岡縣に既に婦人が二名發生してをりこれで三人目の發生である

滿洲土建協會 秋季座談會開催 あすヤマトホテルで

社團法人滿洲土木建築業協會では恒例により廿六日午後三時からヤマトホテルで秋季座談會を開催、滿洲國產業開發の重要部門に屬する土建事業に關し懇談するが出席者は平井出交通部次長、直木水力電氣局長、笠原需品局長、鄭國都建設局長、宮澤民生部次長田中中銀、富田興銀各總裁、河本滿炭理事長、廣瀨電々總裁丁電業社長其他の土建關係者である、座談事項は次の通り

一、本年度工事の施行及進行に付經驗上起業者及請負業者の希望について
二、諸職工人夫及賃金の趨勢對策
三、多年懸案の工事用諸材料及機械器具の統制運用
四、工業入札及工事受下金の要望について
五、多期結氷中又は解氷後の工事用意について
六、內鮮滿北支における非常時土建界の現勢及對策について
七、その他

惜しまれる歲一つ
お目出た大繁昌 歲末控へた神前結婚

出雲の神樣の緣結び新京神社であげられる神前結婚は本年も十二月を殘すのみで今の中にといふ譯か佛滅の樣な惡い日を除いて每日二組か三組行はれて十一月に入つてから現在迄の受付數四十組にのぼり本年度最高記錄五月の四十二組を突破しそうな形勢である本年に入つてからの每月の組數を見ると一月二八組、二月二十五組、三月二十三組、四月三十六組と來て五月が前記最高を示してゐる、六月に入つてぐつと減つて十二組、七月十一組暑い八月は僅か五組九月が十四組、十月は又增加して三十九組にあがつてゐる

これを年齡別に見ると新郎の方が廿九歳が一番多くて四十九人、次が廿八歳で三十九人、三十歳の三十一人、廿六歳の二十七人、卅一歳の十八人の順である、老年の方は五十四歳、五十二歳、四十八歳が各一人有るがこれは再婚であらう、一番若いのが廿二才の二人、それから廿三才の三人、廿四才の五人廿五才の八人と段々上つてゐる、新婦の方は一番多いのは二十三歳の四十九人で次いで二十二歳の四十人二十四歳の三十二人、二十五歳の二十七人、二十一歳の二十四人の順になつてゐるさすが婦人だけに三十歳以上といふのは見受けられないが十六歳、十七歳といふ初々しいのが各一人有る十八歳になるとやゝふえて七人、十九歳は女性の厄年だけに二人のみ、廿歳が十六人である結局新京居住の方々の結婚適齡は男性が廿八、九歳、女性が廿二、三歳といふこととなるからその年頃で未婚の方は精々心掛けて未來のハズ

滿鐵附屬地卅年史 (九)
教育上の工夫研究と 自治會の活躍
室町小學校の沿革その三

教授上の工夫研究

明治の末期大正の初期け本校の創業時代整備充實時代であつた

▽大正四年 沿線兒童訓練要目が出來て勤勞教育が叫ばれ手工教育の重視から四、五、六、七年に亘つて斯道の教育が盛んだつた

▽世界大戰後理科教育の重視が叫ばれ大正七、八、九年に亘つて理科教育が盛んだつた此の頃保々學務課長の來任があつて現地適應教育が叫ばれ滿洲理科書の誕生を見た

▽大正十年—十四年 應個教育が盛んになり精神檢査が行ばれ、大正十二年度には一部に能力別の學級編成を行ひその研究及結果の發表があつた、尚同年八月「學習原論」「目的的學習指導の實際」等について職員の研究發表もあつた

▽大正十五年—昭和二年 鄕土化作業化の研究が盛んだつた、大正十五年鄕土室創設昭和二年、作業化鄕土化した教授要目完成尚此の頃自發活動自學自習の尊重から自習時間の特設を見た

▽昭和三年 各學級經營案作成

▽昭和四年 主眼點明示の教授指針作成、高等科經營特にその特殊化に關する公開教授研究發表があつた

▽昭和五年 作業主義の學級經營案作成、自然科特設、體育重視體操時間三時間增設體操の公開教授研究發表作業化教育(全教科)の公開教授研究發表低學年研究

▽昭和六年 學習作業化、分團式學習—學級經營案作成自然科の研究が盛んとなるデンマーク式加味の體操研究及公開教授地理研究會—地理指導指針作成

▽昭和七年 鄕土化鄕土教育と共に愛鄕運動が盛んになつて、兒童の愛鄕展開催、兒童の鄕土に關する研究發表會開催、職員としては、地、算、理、自然科、手等の鄕土化に努力

▽昭和八年 日本精神の强調新京讀本編纂、地理研究會開催、地理指導細案完成

▽昭和九年 日本精神の强調從つて特に修身國史國語の研究に努力す、新京讀本完成

▽昭和十年 國語の公開教授及び研究發表、同學年研究を重視共同の學年經營案作成

▽昭和十一年 算術教育—生活算術の研究に努力その研究發表があつた、地理教育國史教育最近の思潮に關する研究發表、新京合同教授細目編纂

自治會

從來兒童當番、兒童看護當番の名のもとに自治的に兒童の看護に拾得物の整理等看護の先生方を助けて自治的に相當の活躍を續けて來た、然るに大正十三年一月廿六日東宮御成婚奉祝記念事業の一として此處に自治會なる組織が生れたそして今まで漠然としてなかつたものが一つの形式を取つて活動を始めることになつた初めは各學級を一區とし區長副區長實行委員若干名を

選出

して各學級の仕事をし學級自治會には會長副會長を高二から選出して、この班の統制を取らせたのである、第二年度に於ても大體前年の樣な活躍をして來たが各學級を班とした點に差違があつた、そして自治會の目標を正直親切勤勞規律の四項目として進んで來た第三年目の大正十五年には全職員が自治會に努力すべき事々協議し自覺し發展をなしそれに加ふるにこの年校訓も制定せられた爲に目標そのものも確然として來たのであつた

次で昭和三四年になつて自治會は代議員制を採用し各級より提出された協議項目に依つて學校自治會が之を協議し實行しなければならぬものは直ちに

實行

にうつされたのであつた、この時代から國旗揭揚等にも一定の形式を取り四大節陸海軍記念日及び每月の初めには之を行ふ樣になつた、又敬神の念を養ふ目的を以て神社參拜及び神社境內の清掃作業を行ひ始めた、神社の清掃は每月第一土曜を定期としその他必要に應じて臨時にも行つて居る當新京神社にて宣誓式を行ひ新願文を朗讀してその實行を誓つたのもこの時代から開始されたもので同時に反省表を作り之に每日記入させる樣な事もした

官吏ボーナスの一部 滿洲國公債で支給
時局に鑑み三百圓以上の高給者

滿洲國政府では國家資金動員の一助となすとゝもに官吏をして率先自肅自戒冗費を節約せしめる目的から本年末の賞與金の一部を公債で支給することに決定したが、政府は民間各會社及び銀行等においても右の趣旨に沿ひ善處することを期待してゐる、しかして今回發行の公債は第三次滿洲帝國政府四分 公債と稱し利率は一ヶ年百分の四、發行價格は額面金額百圓につき九十六圓で、十二月一日を期し發行することゝなつてゐる、また公債支給率は左の如くで三百圓以上の高給者に止めてゐる

△公債支給率

賞與金額	公債支給割合
三〇〇圓以上	五〇圓
五〇〇圓以上	一〇〇圓
五六〇圓以上	一五〇圓
八〇〇圓以上	二〇〇圓
九〇〇圓以上	二五〇圓
一〇〇〇圓以上	賞與金額の三割(五〇圓未滿切捨)

空巢狙ひ捕る

最近新發屯一圓に亘つて空巢ねらひ横行被害頻々と屆出であり領事署では警察權移讓を前に面目にかけてもと非常な意氣込みで犯人搜査中であつたが、偶々廿三日午後七時頃三笠町路上に於て折柄警戒中の同署谷口刑事の炯眼に身分不相應のオーバーを所持通行する一滿人が映じた、怪しいと睨んで尾行を續け富士町阿片小賣所天元樓に入つたところを突止め踏み込んで嚴重取調べたところ炯眼あやまたず右空巢ねらひ常習犯なることが判明した

犯人は奉天省館岳城生れ住所不定段緒順(二〇)で去る九月上旬より豆腐行商人となつたが遊興費に窮した結果惡心を起し清和街、新發路等新市街方面を根城に不在をねらつて侵入時計、靴オーバー、洋服等手當り次第竊取入質して遊興に費消しつゝあつたもので自白既に二十數件に及んでゐるが、尚餘罪多數ある見込みで嚴重追及中である

鈴木大佐離京

○○艦長に補せられた駐滿海軍部前參謀長鈴木義尾大佐は二十五日午前十時發はとで離京することになつた

本年內に屆けぬとみすみす資格を失ふ
藥劑師と齒科醫師に注意!

民生部保健司では去る九月一日を以て藥劑師法及び齒科醫師法を公布明年度よりは前二者の資格試驗を施行する段取りとなつてゐるが該法公布前に開業してゐた者に對しては十二月末日を限り屆出のあり次第、有資格者としての既得權を與へることになつてゐるにも拘らず今日に至つても、なほ一名の屆出もなく、みすみす既得權を消滅させて仕舞ふ結果になるので、廿四日各省當局に對し、當業者に注意を促すやう通達を發した

旅順警察官練習所卒業式

關東局旅順警察官練習所甲科生の卒業式は廿五日午前十時より同所に於て行はれるが、今期卒業生は二百九十七名で卒業と同時に管下に配置されることになつた

白系露人事務局 排共展開催

在新京白系露人事務局主催で排共展覽會が二十五日記念公會堂で開催される、ソ聯國內の實情を示す寫眞その他の資料を供覽する由、入場無料

興銀協和會分會結成式

滿洲興業銀行では二十七日午後二時半から大興ビル內の講堂で同行協和會分會の結成式を舉行する

弘報處から外務局に轉じた小濱繁君のところではこの間目出度く「日本男子」が生れた、本人がさう言つて知友たちに意氣揚々電話を掛けてゐた由である▼華燭の典をあげたのが去年の秋だから、ヘケモノ扇から父親への躍進振りも鮮やかなもの▼そしてこの第二世には「一德」と命名した、「この次生れたら一心かね」などと友達にひやかされてもニコニコしてゐるところ、滿悅のさま想ひやるべし

天氣と氣溫

けふの天氣　西の風晴
日の出　前　七時四五分
日の入　後　五時　六分
月の入　後　〇時五八分
きのふの氣溫　最高零下七度二　最低零下十五度三

義人長七郎（百十三）

（舞台上演 映畫化） 中川雨之助 作 / 竹枝二郎 畫

人生の奇縁（五）

「コレサ、だから、まう改まるには及ばぬ、と云つたでは無いか。もう宜い宜い、堅苦しい事は抜きにして、裏店長屋のつもりで大いにやつて貰ひたい……」

と長七郎の言葉の中に軈て用意の酒肴が運ばれました。

言ふまでもなく、山海の珍味です。

「コレコレ、どうしたものだ。二人とも、何時までも、そんなに堅くしてゐては、折角の酒も不味いといふもの……予を長七郎だと思はず、やはり例の大名殿のつもりで、オイあれをせい、これをせい、と用事を言ひ付けてくりやれ」

「ウヘツ、恐れ入ります」

「恐れ入らずに、どうだ三平太、貴公、大いに飲んで、十八番の手踊りを、嶽元どもに、見せてやつて呉れないか。兵十郎は、自慢の喉で、彼の歌を唄つてやれ。ソレ、何とか申したのう、あゝそれそれ……草津よいとこ、一度はおいで、ドツコイシヨ、といふ彼れだ」

「ウヘツ、恐れ入ります」

膳で汚れた二人の首筋へ、油汗がたらたら流れて居ます。

が、酒の力は怖いです。憂ひを掃ふ玉箒ともなれば、憂は景気を撫ぶといふ。そして、今日の二人の場合には、遠慮気兼を吹き飛ばし、裏店長屋の気楽さを再生させる役目をば完全に勤めて呉れました。

前には美酒佳肴、左右には美しい嶽元連中。只後に樽のないのと、懐に金の無いのだけが物足らぬけれど、美人の酌で聴くはありません。

一杯が二杯、二杯が三杯と、徳利の数を重ねて、五臓六腑へ美酒の味はひが、浸み込む頃になると、だんだん地金が現れて、揃つて出た膝拐主が、いつか大胡座と崩れ、「ヤイ姐さん」といつては、嶽元を呼ぶ聲も、よほど怪しく縺れて來ました。

ちやうどその頃、この屋敷へ、息せき切つて駈けつけたのは、易者の老人、根津五郎衛門でした。

取次の者の知らせに依り、島田家兵衛が出て、ひそかに會つてみると、

「一大事をお知らせに參上致しました。實は、彼の御墨付の手懸りを得ましたので」

との容易ならぬ話。

家兵衛も、驚いて、その由長七郎に耳打をすると、

「苦しうない。爺を予の居間へ通せ」

とのことで、五郎衛門、早速案内されます。

ところが、ちやうど、彼が廊下を通りかゝつた時、客間では、三平太が立上り、兵十郎が、聲を張り上げて、例の十八番が始まつたところです。

「草津よいとこ、一度はおいで」

ドツコイシヨー

ドンドンと疊を踏む足拍子。それに混つて、キヤツキヤツと笑ひくづれる嶽元達の金切聲。いやはや、その騒ぎといつたらありません。

五郎衛門、びつくり仰天です。

「あれは、一體何事でござる？」

と、案内の者にきくと。

「お客人でござる」

といふ。

「へえ。お客人……」

「勿體なくも、駿河大納言様若君の御館に、草津よいとこ、を踊るお客人とは面妖な、まるで一つ長屋の、あの二人組の浪人のやうだ」

と、呟ひながら通りました。

知らぬが佛です。」